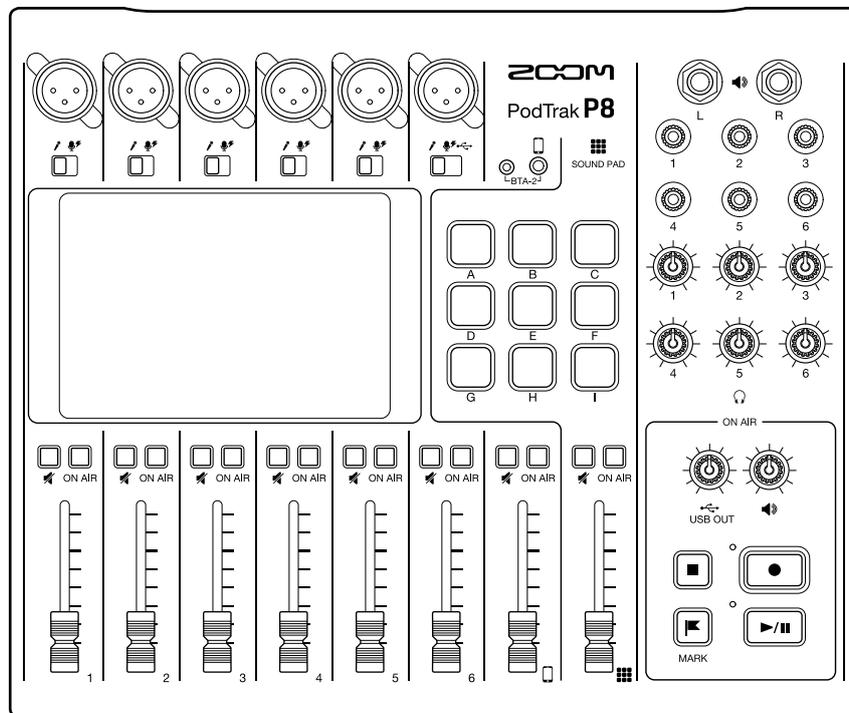


P8

PodTrak



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。
 文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、
 それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。
 白黒端末では正しく表示できません。

オペレーションマニュアルについて

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

オペレーションマニュアルでは、タッチスクリーンで表示される項目名はグレーの帯で表示しています。
例：ノイズリダクション

- ◎ Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。
- ◎ iPadOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- ◎ iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ◎ SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは商標です。
- ◎ 文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。
- * 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

はじめに

このたびは、ZOOM P8 PodTrak をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

P8 は、ポッドキャスト専用マルチトラックレコーダーです。マイクとヘッドフォンを接続するだけで、すぐに高音質での収録を開始できます。音声の調整やエピソードの編集など、ポッドキャスト制作に必要な機能全てを一台にまとめた P8 は、初心者からベテランのポッドキャスターまで全ての方におすすめの製品です。いろいろな場所で本格的なエピソード収録をお楽しみください。

P8 の主な特長

最大 6 人までの収録に対応したマルチトラックレコーダー

6 つのマイク入力には出演者の声に合わせて音質と音量を調節でき、ヘッドフォン出力は全員が収録中の音をモニターできるように 6 つ搭載しています。収録データはポッドキャスト用のステレオファイルに加えて、各チャンネルの音声を別々のファイルに録音することもできるので収録後の編集にも活用できます。

マイク音声を最適に調節

高品位な内蔵マイクプリアンプは、ダイナミックマイクだけでなくファンタム電源 (+48V) の必要なコンデンサーマイクにも対応しています。入力レベルはマイクの種類に合わせて、スイッチ一つで最適に設定されます。また、マイクからの音声には、リミッターやローカットの他、トーン調節、音量を整えるコンプレッサー、歯擦音を抑えるディエッサーやノイズリダクションをかけることもできます。全ての信号処理は音声に特化しており、ON/OFF または 1 パラメーターによる調節式なので、音作りの知識がなくても簡単に設定することができます。

必要な編集機能を全て搭載

P8 は、収録したデータの不要部分の削除や、最適な音量への自動調節、オープニングやエンディングのファイルとの結合など、配信エピソードを完成させるために必要な編集機能を搭載しています。4.3 インチの大型カラータッチスクリーンを使った直感的な操作で、パソコンを使うことなく誰でも簡単にポッドキャストを完成させることができます。

ジングルや録音したインタビューのポン出し

SOUND PAD 機能は、9 つのパッドと録音中にも切り替え可能な 4 つのバンクを持っており、内蔵音源やオーディオファイルを実タイムに再生することができます。複数の番組を作成するときは、番組ごとにバンクを分けるといった使い方もできます。また SOUND PAD は点灯する色を設定できるため、例えばインタビューを録音したファイルを青色にするなどして、割り当てたファイルを分かりやすくすることもできます。ポッドキャストやライブストリーミングの演出にご活用ください。

リモート収録

メンバー全員が集まることができないときや、離れた場所にいるゲストを招待したいときは、スマートフォンやパソコンを使用して収録に参加してもらうことができます。通話先の音声にエコーが発生しないようにミックスマイナス機能も搭載しました。オプションの無線アダプタ (BTA-2) を装着すれば、スマートフォンと P8 をワイヤレスで接続することができます。

ライブストリーミング

2in2out の USB オーディオインターフェース機能は、P8 とパソコンやスマートフォン/タブレットを使用したライブストリーミングやレコーディングに使用することができます。クラスコンプライアントモードに対応しているので、専用ドライバーをインストールする必要がありません。

オプションのアクセサリパック

ダイナミックマイク (ZDM-1) とヘッドフォン (ZHP-1)、それらの周辺アクセサリ、収録後のパソコン編集に便利なソフトウェアをセットにした Podcast Mic Pack をオプションとして用意しています。

目次

オペレーションマニュアルについて	2	ファイルを管理する	49
はじめに	3	ファイルを削除する	50
目次	4	複数のファイルの並び順を指定して一つの ファイルにまとめる	52
ポッドキャストの流れ	5	ファイルを編集する	55
P8 の概要	7	ファイル編集画面を表示する	56
用語	7	ファイルの名前を変更する	57
各部の役割	8	アイコンを変更する	58
接続例	11	不要な部分をカットする（トリミング）	59
使用例	12	分割する	61
信号の流れ	13	フェードイン／フェードアウト	63
タッチスクリーン表示	15	BGMなどを付加する	66
準備する	17	ポッドキャストに最適な音量に調整する （ラウドネス ノーマライズ）	69
SD カードをセットする	17	MP3 に変換する	71
電源をセットする	18	パソコンやスマートフォン／タブレットにファイル を転送する	72
電源を入れる	20	パソコンやスマートフォン／タブレットに ファイルを転送する	72
初回起動時の設定を行う	22	P8 のフォルダー・ファイル構成	73
接続する	24	日時を修正する	74
マイクを接続する	24	タッチスクリーンの表示言語を変更する	75
ヘッドフォンを接続する	25	電池の種類を設定する	76
スマートフォンを接続する	26	タッチスクリーンの明るさを調節する	77
BTA-2（専用無線アダプター）を接続する	27	ノイズリダクションの設定をする	78
パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する	28	録音するファイルを設定する	79
パワードスピーカーなどを接続する	31	SD カードをテストする	80
録音する	32	SD カードを初期化する	83
入力ゲイン／音質を調節する	32	設定を SD カードにバックアップ／ロードする	84
各チャンネルの音量のバランスをとる	35	バックアップする	84
録音する	36	バックアップをロードする	85
再生する	37	電源の自動 OFF 機能を設定する	87
ホーム画面から再生する	37	工場出荷時の状態に戻す	88
ファイルを選択して再生する	38	ファームウェアのアップデート	89
マークを使用する	40	故障かな？と思われる前に	90
マークを付加する	40	共通	90
マークを削除する	41	オーディオインターフェース	91
SOUND PAD を使用する	42	仕様	92
SOUND PAD を再生する	42	ミキサーブロックダイアグラム	93
オーディオファイルを SOUND PAD に 割り当てる	43		
各 SOUND PAD の音量を調節する	46		
各 SOUND PAD の再生方法を設定する	47		
バンクの名前を変更する	48		

ポッドキャストの流

1. 準備 ～接続を確認する

● 準備

P8 に SD カードと電源をセットし日時を設定しておきましょう。

● 接続と確認

マイクとヘッドフォンを接続します。

- ・マイクは1人に1本ずつ使用すると、各自の音量に合わせて音量を調節できるので聴き取りやすい録音ができます。
- ・安定した音量で収録できるように出演者とマイクの距離を調節しましょう。P8 は、接続するマイクに合わせて INPUT SELECT スイッチを切り替えると、適切な入力ゲインが設定されるようになっています。
- ・P8 は、声のトーンを調節したり、コンプレッサーやディエッサーをかけることができます。
- ・使用しない入力チャンネルはノイズを拾わないようにミュートしておきましょう。
- ・ヘッドフォンはマイクからの入力を確認するほかに、SOUND PAD の再生音やリモート参加のゲストの声を聴くために必要です。

離れた場所のゲストが収録にリモート参加する場合は、P8 にパソコンやスマートフォン/タブレットを接続します。

- ・スマートフォン接続端子を使用する場合にはエコーが発生しないようになっていますが、USB 端子を使用する場合にエコーの発生を防ぐには USB Mix Minus の設定を ON にしてください。

収録中の BGM やジングルなどのポン出しに使用する SOUND PAD の設定と音量を確認しておきましょう。

● 収録現場の環境ノイズ対策

- ・風による吹かれノイズはマイクにウインドスクリーンを装着することで軽減できます。その他の環境音は、発生源にマイクを向けないように方向を調節してください。
- ・使用するマイクや電源のケーブルは、収録中に触ってしまうとガサガサというタッチノイズの元になります。マイクスタンドを使用してケーブル類は整理しておきましょう。マイクケーブルと電源ケーブルは近づけすぎるとノイズを拾うことがあります。
- ・P8 のマイク入力設定画面にある Low Cut を ON にするとマイクが拾った振動や風切り音などを軽減することができます。
- ・P8 の ON AIR 設定画面にあるノイズリダクションを ON にすると、複数のマイクを使用して音声収録をするときに、発言していない人のマイク入力を自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを一定のレベルに抑えることができます。

2. 収録する

● 収録のテーマ

テンポ良く会話が収録できるように出演者同士お互いに話す内容を確認し、参考資料などを手元に用意しておきましょう。

● 発声について

聴き取りやすい発声を心掛けると同時に声に含まれる歯擦音（さしすせそ）や破裂音（ぱびぶぺぼ）が大きくなるように気をつけましょう。

● SOUND PAD

ジングルや効果音を鳴らして番組を盛り上げましょう。

3. 公開する

● 公開

P8 の USB ファイル転送画面でパソコンやスマートフォン／タブレットに接続すると、収録したファイルを転送できます。お使いのホスティングサービス*やサーバーにアップロードしてください。

* ポッドキャスト用ファイルを保存するサーバーを提供するサービス

● 公開する前に編集する場合

録音したポッドキャスト用ステレオファイルは、**P8** を使って以下のように編集することが可能です。

- 不要な部分をカットし、フェードイン、フェードアウト処理を入れる。
- BGM を付加する。
- ラウドネス ノーマライズ機能でポッドキャストに適した音量にそろえる。
- 用意しておいたオープニング／エンディングを前後に結合する。
- MP3 に変換する。

また、**P8** に記録される各チャンネル個別のファイルを使用し、DAW で細かく編集したり、出演者ごとに音量を調整したりすることもできます。

P8 の概要

用語

オーディオインターフェース

マイクや楽器などの音声をパソコンやスマートフォン／タブレットに取り込んだり、スピーカーやヘッドフォンにパソコンなどからの音声を出力したりすることのできる機器です。

USB オーディオリターン

P8 をオーディオインターフェースとして接続したときの、パソコンやスマートフォン／タブレットからの出力信号です。接続した機器から BGM を流すことができます。

SOUND PAD

オーディオファイルを割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。あらかじめ録音したインタビューを再生したり、オープニングやエンディング用の曲、ジングルを再生したいときに便利です。9 個の SOUND PAD × 4 つのバンクで計 36 個のオーディオファイルを割り当てることができます。

USB Mix Minus

P8 をオーディオインターフェースとして使用しているときに、USB からの入力を USB に出力しないようにできます。パソコンやスマートフォン／タブレットで通話しながら収録するときに、通話先へのフィードバックを防ぐことができます。

ON AIR キー

ON AIR キーを消灯させて入力した音声は、USB 端子（配信音声）、SPEAKER OUT 端子には出力されず、ポッドキャスト用ステレオファイルにも記録されないため、音楽を流している間に出演者間で次の話題の相談をする場合などに便利です。

ポッドキャストिंग

インターネット上に音声ファイルを公開する手法の一つ。スマートフォンやパソコンなどで気軽に聞けるコンテンツを作成し、インターネット経由で配信します。

ダイナミックマイク

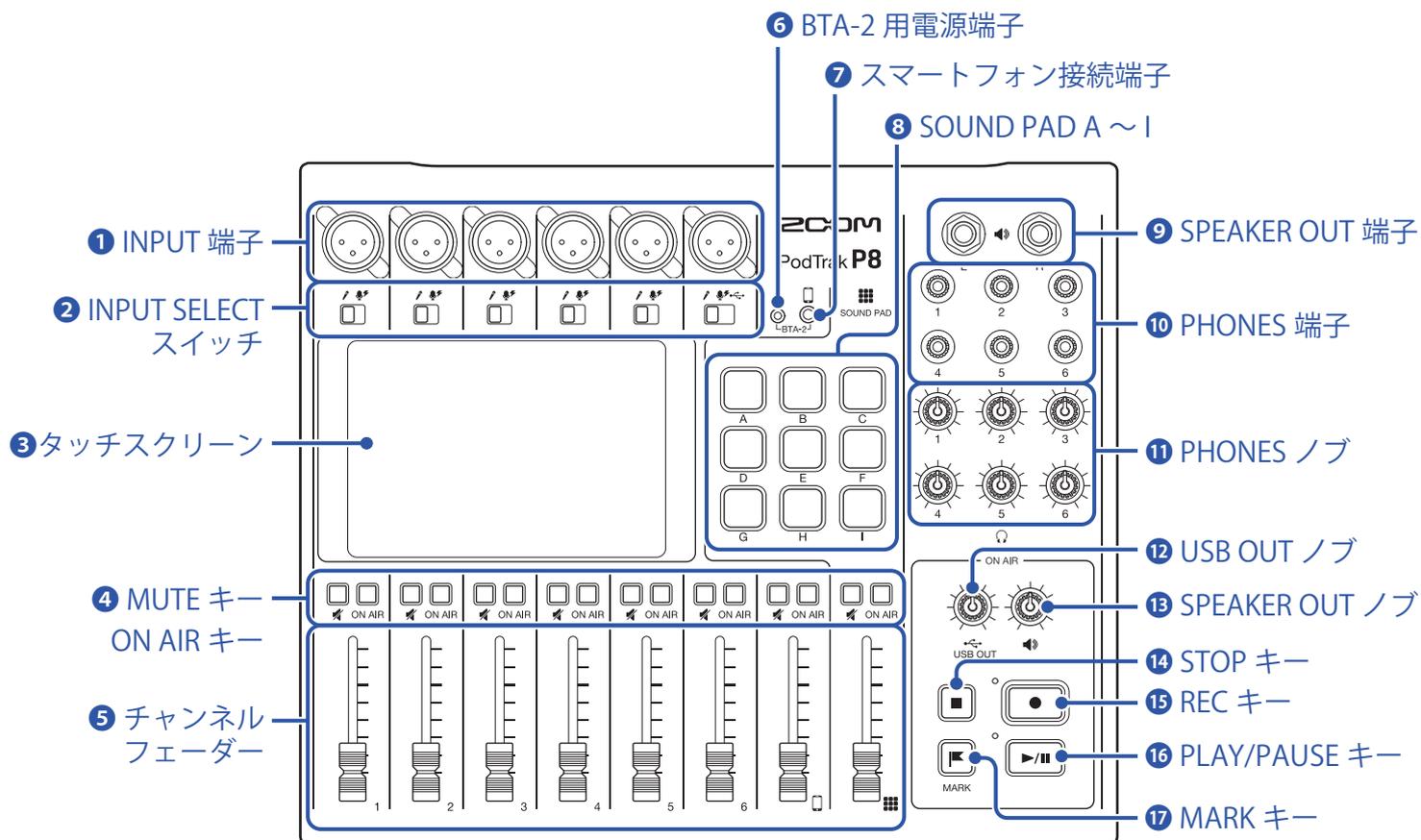
ファンタム電源を必要とせず、丈夫で耐久性があるマイクです。

コンデンサーマイク

一般的に感度が高く、高音質で音を拾うマイクです。使用するにはファンタム電源の供給が必要です。

各部の役割

■ 上面



1 INPUT 端子

マイクプリアンプを搭載した入力端子です。

2 INPUT SELECT スイッチ

接続する機器に応じて切り替えます。

🎤：ダイナミックマイク

🎧：コンデンサーマイク (+48V のファンタム電源を供給します。)

📶：パソコンやスマートフォン／タブレット

3 タッチスクリーン

P8 の状態を表示したり、各種設定やファイル編集をタッチ操作で行います。

4 MUTE キー

信号のミュートを ON (点灯) /OFF (消灯) します。

ON AIR キー

点灯時：チャンネルの信号は、ポッドキャスト用ステレオファイルに記録され、USB 端子、SPEAKER OUT 端子、PHONES 端子、スマートフォン接続端子に送られます。

消灯時：チャンネルの信号は、PHONES 端子、スマートフォン接続端子のみに送られます。

⑤ チャンネルフェーダー

チャンネルの信号レベルを $-\infty \sim +10$ dB の範囲で調節します。

⑥ BTA-2 用電源端子

専用無線アダプター BTA-2 と接続するときに使用する電源端子です。

⑦ スマートフォン接続端子

スマートフォンを接続します。

⑧ SOUND PAD A ~ I

各パッドに割り当てられている音声を再生します。

⑨ SPEAKER OUT 端子

各チャンネルの信号をステレオミックスした信号を出力します。パワーアンプ、PA システム、アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。

⑩ PHONES 端子

各チャンネルの信号をステレオミックスした信号を出力します。ヘッドフォンを接続します。

⑪ PHONES ノブ

PHONES 端子に出力される信号の音量を調節します。

⑫ USB OUT ノブ

USB 端子に出力される信号の音量を調節します。

⑬ SPEAKER OUT ノブ

SPEAKER OUT 端子に出力される信号の音量を調節します。

⑭ STOP キー

録音／再生を停止します。

⑮ REC キー

録音を開始／終了します。

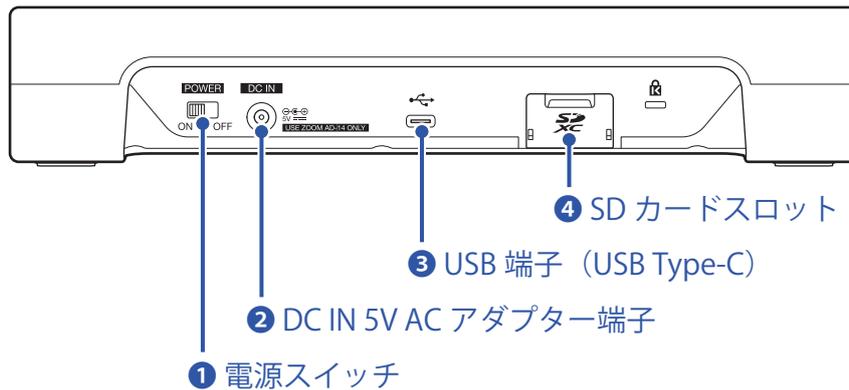
⑯ PLAY/PAUSE キー

録音したファイルを再生／一時停止します。

⑰ MARK キー

録音中／再生中に押すと録音ファイルにマークが付加されます。編集の目印となります。

■ 背面



① 電源スイッチ

電源を ON/OFF します。

② DC IN 5V AC アダプター端子

付属の AC アダプターを接続します。

③ USB 端子 (USB Type-C)

パソコン、スマートフォン／タブレットと接続する USB 端子です。

④ SD カードスロット

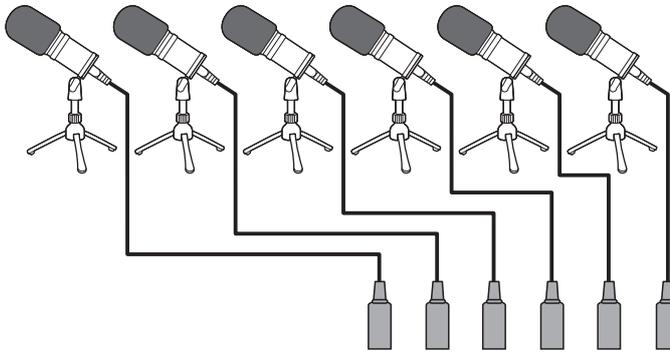
SDHC 規格対応カード、SDXC 規格対応カードに対応しています。

SD カードは **P8** で初期化してご使用ください。(→ [83 ページ「SD カードを初期化する」](#))

接続例

マイク

ダイナミックマイクまたは
コンデンサーマイク

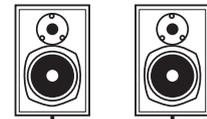


スマートフォン

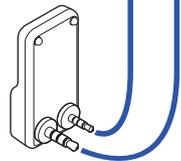
ポッドキャストにゲストを
電話参加させることができます。



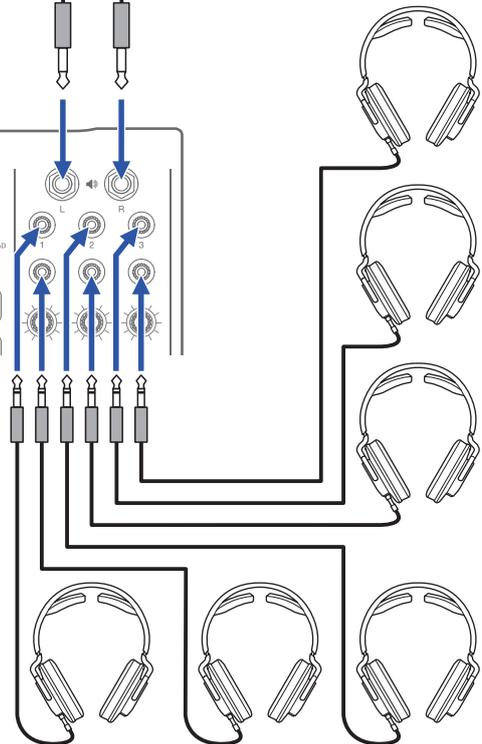
アンプ内蔵スピーカー



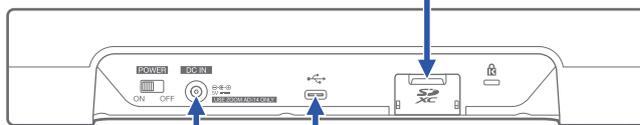
専用無線アダプター (ZOOM BTA-2)
スマートフォン/タブレットとワイヤレスで接続できます。



ヘッドフォン



SD カード



AC アダプター
(ZOOM AD-14)

USB Type-C
端子

パソコンまたはスマートフォン/タブレット
オーディオインターフェース機能でパソコンな
どと音声をやり取りしたり、SD カードに録音し
た音声を転送して編集することができます。
一部通話アプリで使用できない場合があります。

HINT

ポッドキャストに最適なアクセサリ Podcast Mic Pack をご用意しています。
ダイナミックマイク ZDM-1 とヘッドフォン ZHP-1 がセットになっており、すぐにポッドキャストを始められます。

使用例

ゲストを電話参加させてポッドキャストイング

パソコンやスマートフォン／タブレットを **P8** に接続すると、離れた場所にいるゲストをポッドキャストイングに電話参加させることができます。

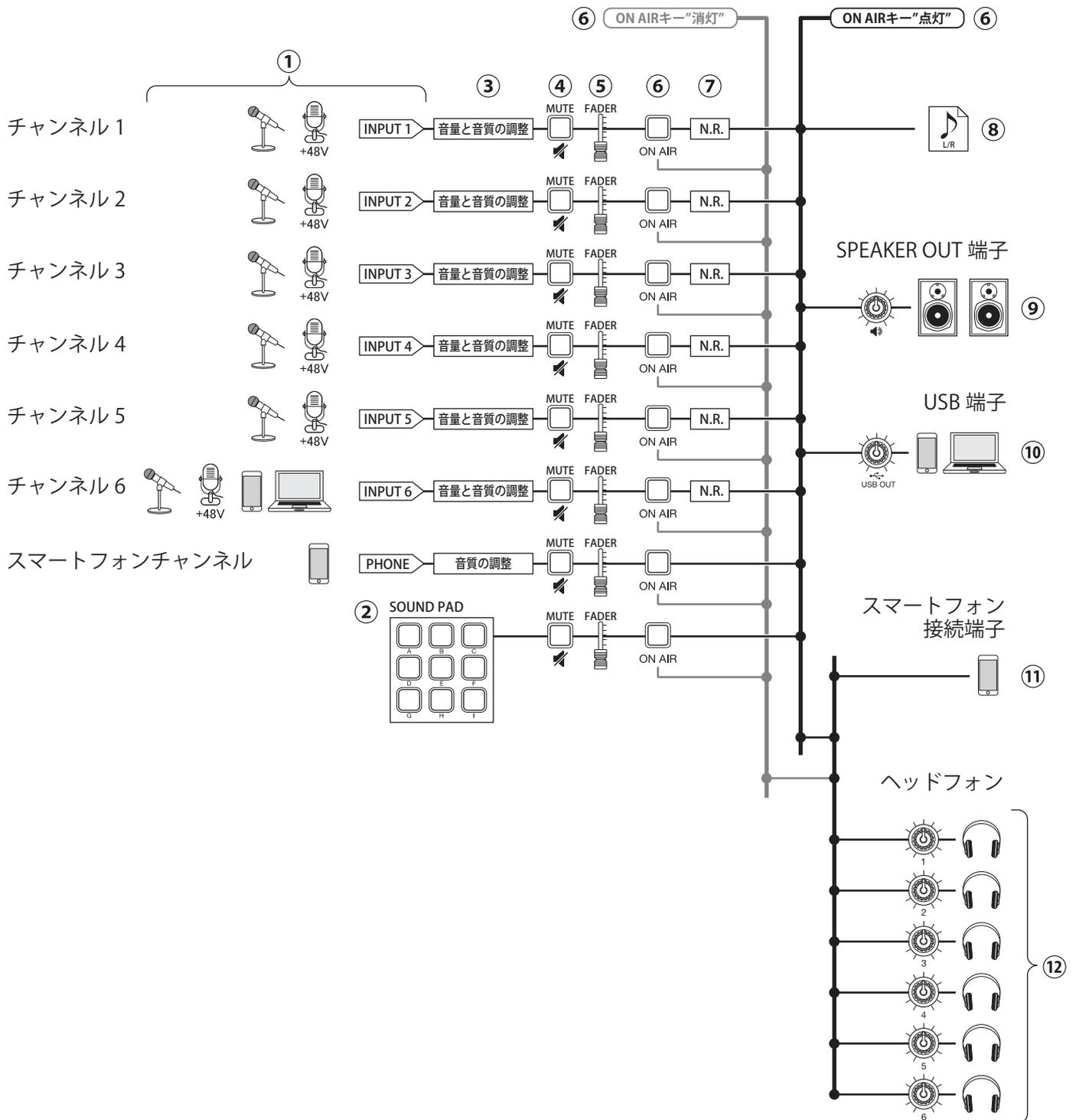


ライブストリーミングで使用する

P8 をパソコンやスマートフォン／タブレットに接続して、リアルタイムで音声を配信することができます。



信号の流れ



- ① 音声を入力します。チャンネル1～5はマイク音声を入力できます。チャンネル6はマイク音声またはUSBオーディオリターンを入力できます。スマートフォンチャンネルはスマートフォンの音声を入力できます。
- ② SOUND PAD を再生します。
- ③ 各チャンネルの入力の設定をします。入力ゲイン調節や不要な低域カットやリミッターのON/OFF（マイク入力のみ）、音質の調節ができます。
- ④ ミュートを ON/OFF します。使わない入力をミュートできます。

- ⑤フェーダーで各チャンネルの音量バランスを調節します。
- ⑥ON AIR 設定を ON/OFF します。ON AIR キーが OFF (消灯) になっているときは、ポッドキャスト用ステレオファイル、SPEAKER OUT 端子、USB 端子には音声は出力されません。
- ⑦ノイズリダクションを ON/OFF します。ON にすると複数のマイクを使用して音声収録をするときに、発言していない人のマイク入力を自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを一定のレベルに抑えることができます。
- ⑧ポッドキャスト用の録音ファイルです。全てのチャンネルと SOUND PAD の音声をステレオにまとめたものです。
- ⑨各チャンネルをミックスした音声や、SD カードのオーディオファイルの再生音をアンプ内蔵スピーカーなどに出力します。
- ⑩USB 接続しているパソコンやスマートフォン／タブレットに各チャンネルをミックスした音声を出力します。USB Mix Minus の設定 (→ [30 ページ](#)) が ON のときは、チャンネル 6 に入力した音声 (USB オーディオリターン) は含みません。
- ⑪接続されたスマートフォンに各チャンネルをミックスした音声が出力されます。ただし、接続されたスマートフォンからの音声は出力しません。
- ⑫ポッドキャスト用に録音される音声をヘッドフォンでモニターします。ON AIR キーが OFF (消灯) になっているチャンネルも再生されます。ヘッドフォンごとに音量調節できます。

HINT

INPUT 1 ~ 6、PHONE、SOUND PAD を個別のファイルに録音することもできます。(→ [79 ページ「録音するファイルを設定する」](#))

タッチスクリーン表示

ホーム画面について

P8の電源を入れたときにタッチスクリーンに表示される画面です。

録音状況や入力レベルなど、P8の状態を表示したり、ボタンをタップすることにより簡単に各機能にアクセスすることができます。

ステータスアイコン

レコーダーのステータスを表示します。

- : 録音中
- ⏸ : 録音一時停止中
- 🚩 : マークが付加された
- Remaining Time : 録音停止中

カウンター

現在の録音経過時間または残りの録音可能時間を表示します。

日時表示

日時、表示言語に関する設定をします。

SDカードボタン

SDカードに関する設定をします。

ライブラリボタン

SDカード内のファイルを表示し、ファイルを管理/編集することができます。

レベルメーター

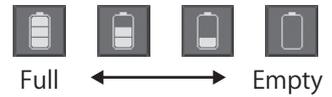
各チャンネル、ポッドキャスティング用ステレオミックスの出力レベルを表示します。



電源ボタン

電源に関する設定をします。

- ACアダプター動作時:
- USB電源動作時:
- 電池動作時:



トラックボタン

マイクセッティングや音質調整など、各チャンネル入力の設定をします。アイコンは選択した入力によって変わります。

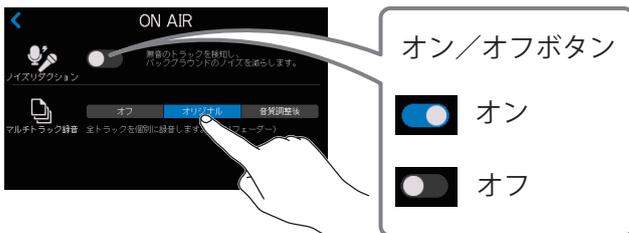
ON AIR 設定ボタン

ノイズリダクションのON/OFF、録音するトラックの設定をします。

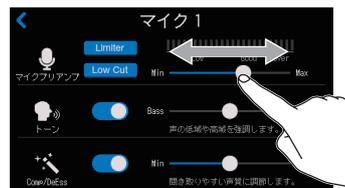
タッチスクリーンの操作について

■ 各画面での操作

タップやスライドで操作を行います。



選択、オン/オフ切り替え: タップ



調節: スライド
(タッチしたまま左右に移動)

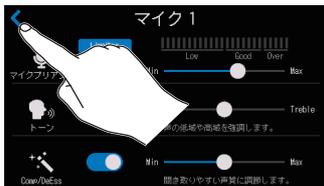


項目のスクロール: スライド
(タッチしたまま上下に移動)

■ 一つ前の画面／ホーム画面に戻るには

画面左上  をタップします。

ホーム画面に戻るには、ホーム画面が表示されるまで  をタップします。



文字入力画面

文字入力画面は、ファイル名や SOUND PAD のバンク名を変更するときにタッチスクリーンに表示されます。キーボードをタップして文字を入力します。



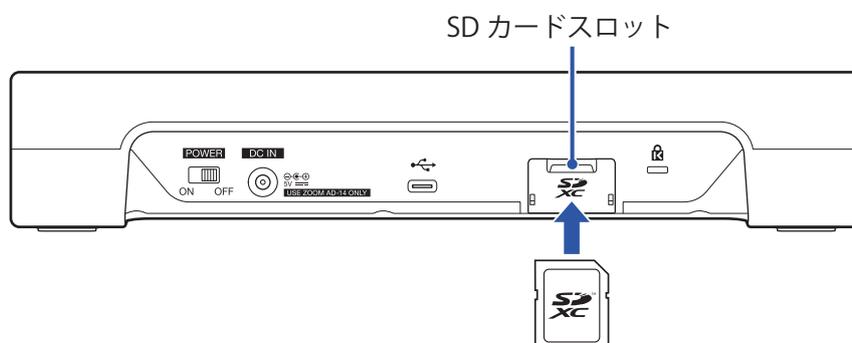
NOTE

使用可能な文字／記号は次の通りです。

! # \$ % ' () + , - ; = @ [] ^ _ ` { } ~ (space) A-Z, a-z, 0-9

準備する

SD カードをセットする



1. 電源 OFF の状態で SD カードスロットカバーを開き、SD カードをスロットの奥まで差し込む
取り出したいときは SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜きます。

NOTE

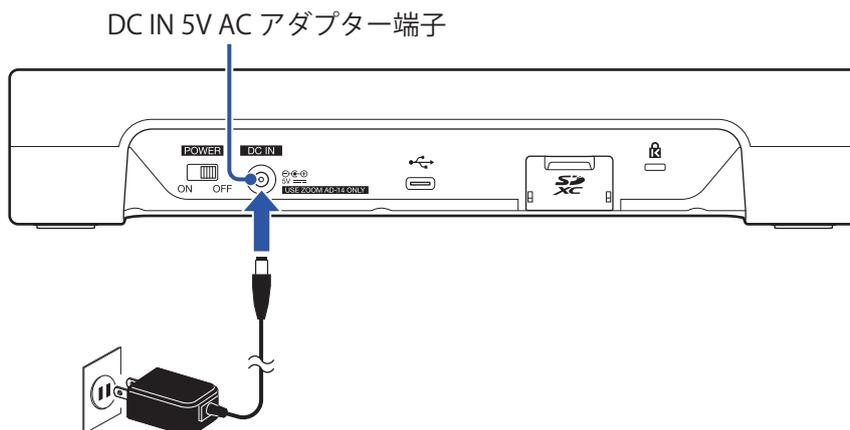
- SDHC 規格対応カード、SDXC 規格対応カードに対応しています。
- SD カードのライトプロテクトを解除してから挿入してください。
- 電源が ON のまま SD カードを抜き差しすると、データを破損させる恐れがあります。
- SD カードを抜き差しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- SD カードが入っていないときは、録音や再生はできません。
- 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **P8** で初期化する必要があります (→ [83 ページ「SD カードを初期化する」](#))。

電源をセットする

P8 は AC アダプター、USB バスパワー、電池のいずれかで動作することができます。
電源は AC アダプター＞ USB バスパワー＞電池の順に優先されます。

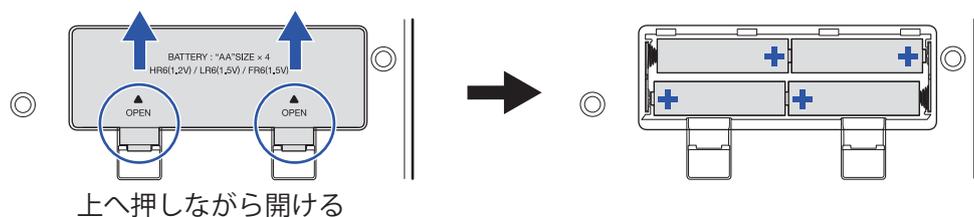
AC アダプターを使用する

DC IN 5V AC アダプター端子に専用の AC アダプター（AD-14）のケーブルを接続し、コンセントに接続してください。



電池を入れる

P8 を電池で駆動する場合は、製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を 4 本入れてください。

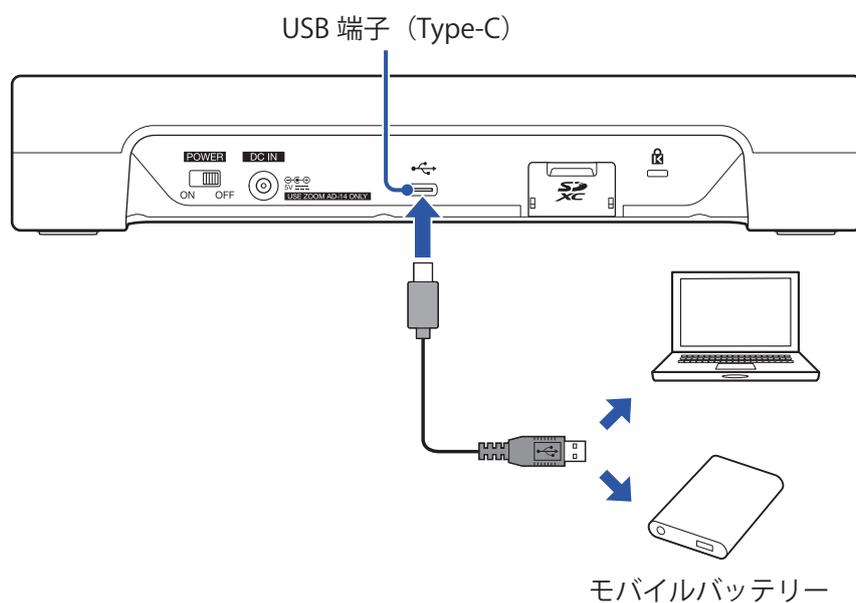


NOTE

- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。（→ [76 ページ「電池の種類を設定する」](#)）
- 電池残量はホーム画面（→ [15 ページ](#)）で確認できます。

その他の電源について

USB 端子 (Type-C) にパソコンを接続すると、USB バスパワーで **P8** を駆動することができます。また、モバイルバッテリーで駆動させることもできます。



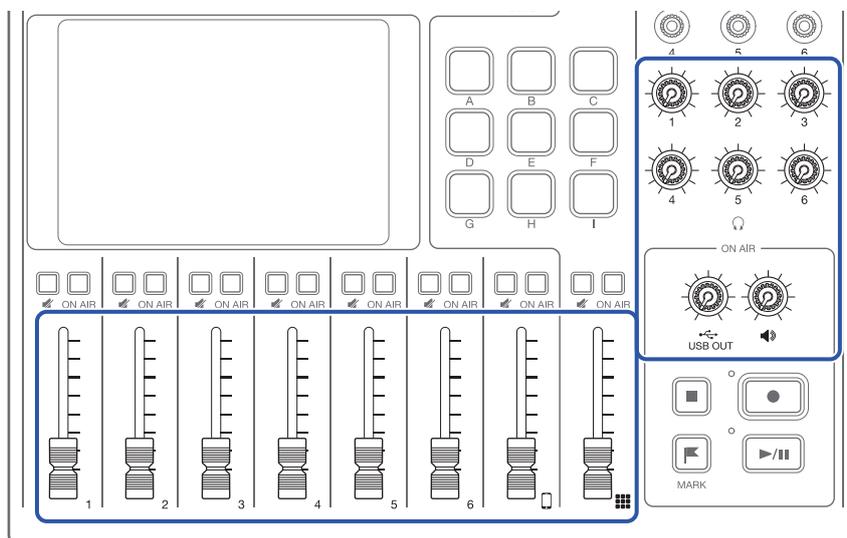
NOTE

タブレットモード (→ [29 ページ](#)) が ON のときは、USB バスパワーによる電源供給で動作しません。

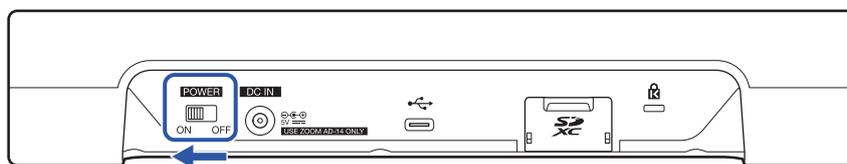
電源を入れる

1. P8 に接続する出力機器の電源が OFF になっていることを確認する

2. すべての  とフェーダーを最小の位置に合わせる



3.  を ON にする



電源が入り、タッチスクリーンにホーム画面が表示されます。

ご購入後、初めて電源を ON にした場合、または P8 を工場出荷時の状態に戻したときは、初回起動時の設定を行ってください。(→ [22 ページ「初回起動時の設定を行う」](#))

4. P8 に接続している出力機器の電源を ON にする

NOTE

AC アダプターで駆動中、操作をしない状態で 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。常に電源を ON にしたい場合は、電源の自動 OFF 機能の設定を無効にしてください。(→ [87 ページ「電源の自動 OFF 機能を設定する」](#))

電源を切る

1. P8 に接続している出力機器の音量を最小にする

2. P8 に接続している出力機器の電源を OFF にする

3.  を OFF にする

ON OFF
タッチスクリーンに「Goodbye See You!」が表示され、電源が OFF になります。

NOTE

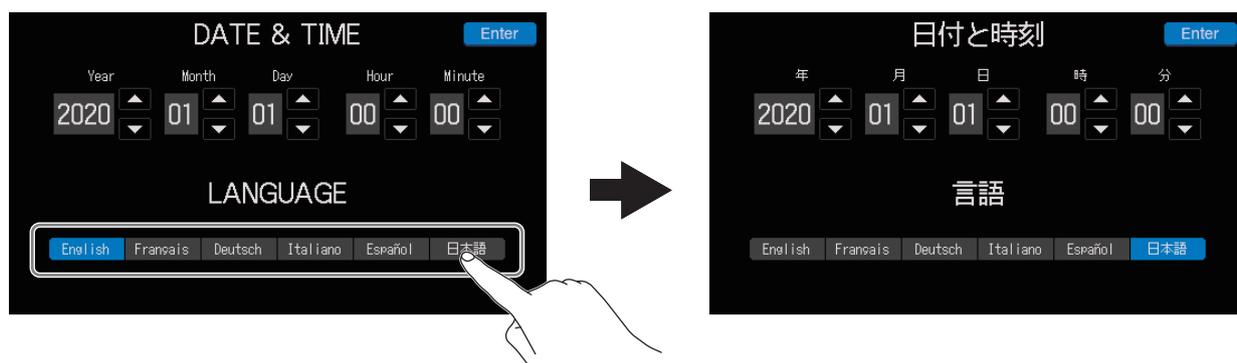
電源 OFF 時に、現在の設定は P8 本体に保存されます。

初回起動時の設定を行う

日付／時刻、言語を設定する（初回起動時）

ご購入後、初めて電源を ON にした場合は、タッチスクリーンに日付／時刻、言語の設定画面が表示されます。日付／時刻は、録音したファイルに記録され、ファイル名は録音開始日時となります。正しい日付／時刻を設定することで、ファイル名でファイルの内容を判断したりなど、ファイル検索時に便利です。また、タッチスクリーンに表示する言語を選択することができます。

1. タッチスクリーンに表示する言語をタップする



タッチスクリーンの表示が、選択した言語になります。

2. ▲ / ▼ をタップして、年、月、日、時、分を設定する



3. 日付／時刻を設定したら、Enter をタップする



設定した日付／時刻が確定し、タッチスクリーンに ON AIR 設定画面が表示されます。

HINT

日付／時刻、言語の設定は、ホーム画面で日時表示をタップして後から設定し直すこともできます。（→ [74](#) ページ「日時を修正する」）

ノイズリダクション、録音するファイルを設定する（初回起動時）

次にノイズリダクションの ON/OFF、録音するファイルの設定をします。

P8 に搭載されているノイズリダクションは、複数のマイクを使用して音声収録をするときに、発言していない人のマイク入力を自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを一定のレベルに抑える機能です。

1. ON/OFF ボタンをタップしてノイズリダクションの ON/OFF を設定する



2. 録音するファイルの設定をタップする



設定値	説明
オフ	ポッドキャスト用ステレオファイルのみ記録します。
オリジナル	ポッドキャスト用ステレオファイルに加え、各チャンネルも個別ファイルとして記録します。各チャンネルの個別ファイルは、トーンや Comp/DeEss などの通過前、フェーダー通過前のデータが記録されます。
音質調整後	ポッドキャスト用ステレオファイルに加え、各チャンネルも個別ファイルとして記録します。各チャンネルの個別ファイルは、トーンや Comp/DeEss などの通過後、フェーダー通過前のデータが記録されます。

3. 設定が終わったら、Enter をタップする



初回起動時の設定が終了し、タッチスクリーンにホーム画面が表示されます。

HINT

ノイズリダクション、録音するファイルの設定は、ホーム画面で **ON AIR** をタップして後から設定し直すこともできます。（→ [78 ページ「ノイズリダクションの設定をする」](#)、[79 ページ「録音するファイルを設定する」](#)）

接続する

マイクを接続する

音声収録のためのマイクを接続します。マイクは6本まで接続することができます。

ダイナミックマイクまたはコンデンサーマイク
マイクケーブル (XLR 端子) で INPUT 端子 1 ~ 6 に接続します。

2 : HOT 1 : GND
3 : COLD

INPUT SELECT スイッチ 1 ~ 6
ダイナミックマイクを接続するときは 、コンデンサーマイクを接続するときは に設定してください。設定に応じて、適切なゲインに設定されます。

MUTE キー 1 ~ 6
消灯していることを確認してください。

ON AIR キー 1 ~ 6
点灯していることを確認してください。

トラックボタン 1 ~ 6
タップすると、マイクのゲインや音質の調節ができます (→ [32 ページ](#))。

トラックボタンは INPUT SELECT スイッチの設定によって以下のように表示されます。

のとき:

のとき:

のとき:

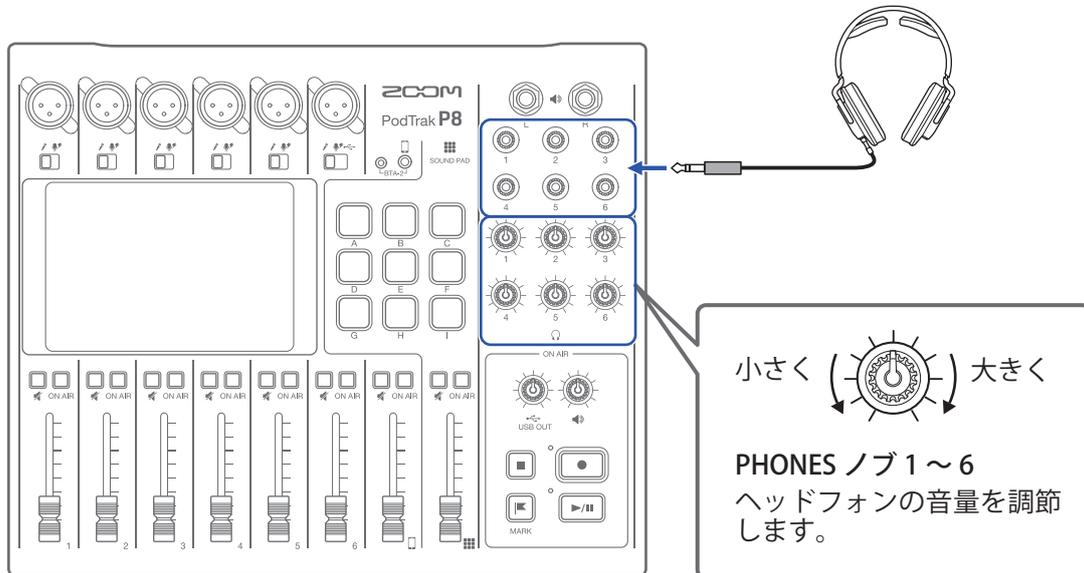
NOTE

INPUT SELECT スイッチを にすると、INPUT 端子に +48 V のファンタム電源を供給します。ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、INPUT SELECT スイッチを にしないでください。機器が破損することがあります。

ヘッドフォンを接続する

音声確認用のヘッドフォンを接続します。PHONES 端子 1～6 からは同一の音声が出力されます。ヘッドフォンは 6 つまで接続することができます。

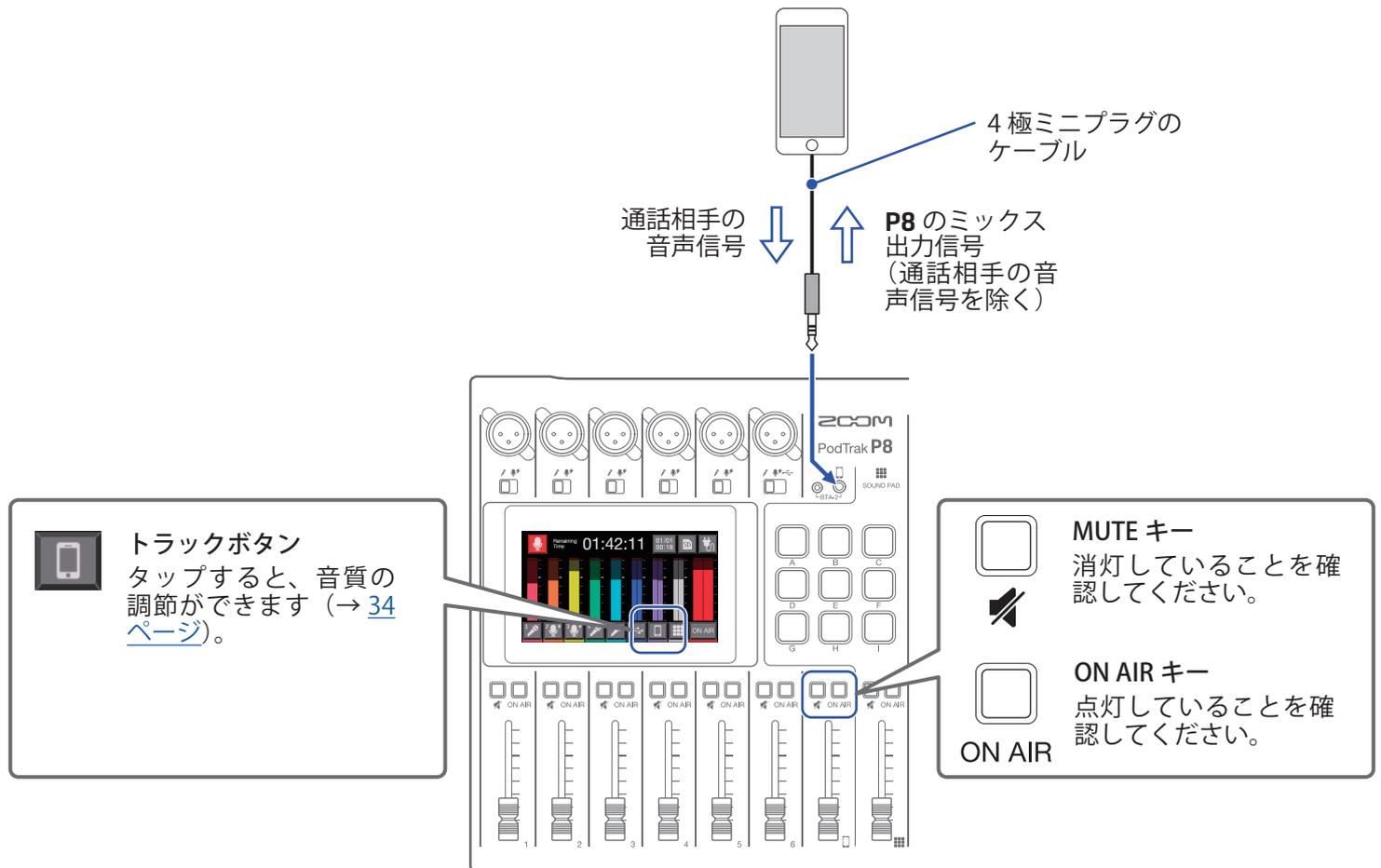
ヘッドフォン
PHONES 端子 1～6 に接続します。



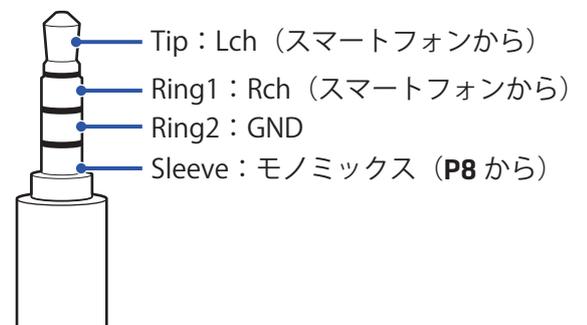
スマートフォンを接続する

スマートフォン接続端子にスマートフォンを接続すると、以下のことができます。

- ポッドキャストにおいて、電話参加のゲストの音声をスマートフォンチャンネルに入力できます。4極ミニプラグのケーブルを使うことで、スマートフォンからの入力と同時にモノラル信号をスマートフォンに返します。この出力信号にはスマートフォンチャンネルの音声は含まれないため、電話参加のゲストにエコーが発生することはありません。
- スマートフォンで再生した音楽をスマートフォンチャンネルに入力できます。

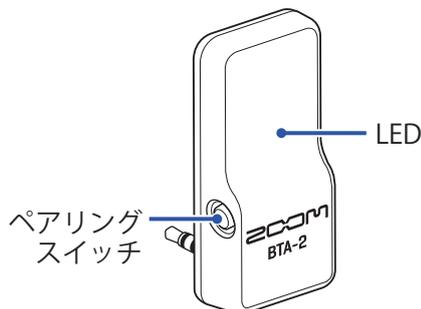


4極ミニプラグ



BTA-2（専用無線アダプター）を接続する

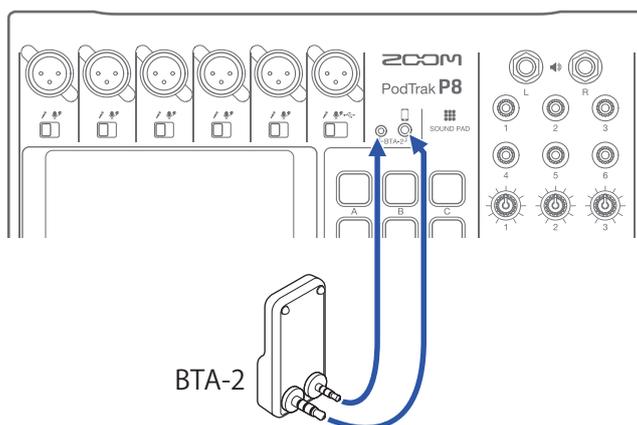
BTA-2 を接続すると Bluetooth 経由でスマートフォン接続端子に音声を入力することができます。



接続する

初めて接続するときは、ペアリングを行う必要があります。

1. P8 の電源を OFF にした状態でスマートフォン接続端子、BTA-2 用電源端子に BTA-2 を接続する



2. P8 の電源を ON にする (→ [20 ページ「電源を入れる」](#))

BTA-2 に電源が供給されると LED が白く点灯します。

ペアリング済みのスマートフォンでは、この時点で自動的に接続されます。

3. BTA-2 の LED が白く点滅するまでペアリングスイッチを長押しする

BTA-2 が接続待機状態になります。

4. スマートフォンで接続操作を行う

接続が完了すると LED が青く点灯します。

接続を解除する

1. スマートフォンで接続解除の操作を行う

接続が解除されます。

2. P8 の電源を OFF にした状態で BTA-2 を取り外す

パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する

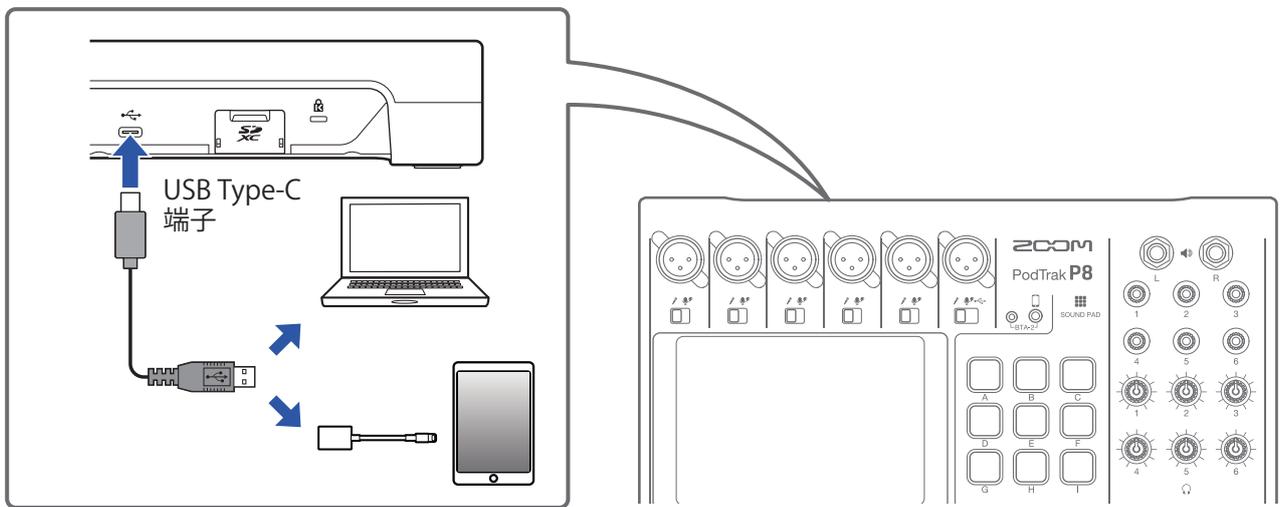
USB 端子 (Type-C) にパソコンやスマートフォン／タブレットを接続すると、以下のことができます。

オーディオインターフェース機能

- パソコンやスマートフォン／タブレットで再生した BGM や、通話アプリの音声をチャンネル 6 に入力することができます。(→ [30 ページ「USB オーディオリターンをチャンネル 6 に入力する」](#))
- P8 に入力した音声、SOUND PAD で再生した音声をパソコンやスマートフォン／タブレットへ送り、そのままライブストリーミングすることができます。(→ [29 ページ「オーディオインターフェース機能について」](#))

USB ファイル転送機能

- SD カードの録音ファイルをパソコンやスマートフォン／タブレットへ転送し、お使いのホスティングサービスやサーバーにアップロードすることができます。(→ [72 ページ「パソコンやスマートフォン／タブレットにファイルを転送する」](#))



NOTE

Lightning コネクタを搭載した iOS/iPadOS デバイスと接続するには、Lightning - USB カメラアダプタ／Lightning - USB 3 カメラアダプタが必要です。

スマートフォン／タブレットと接続するとき

1. ACアダプターを接続するか、電池を入れて、**P8**の電源を入れる（→20ページ「電源を入れる」）
2. ホーム画面で電源ボタン（ / ）をタップする
3. ON/OFF ボタンをタップして**タブレットモード**をONにする



4. スマートフォン／タブレットと接続する

NOTE

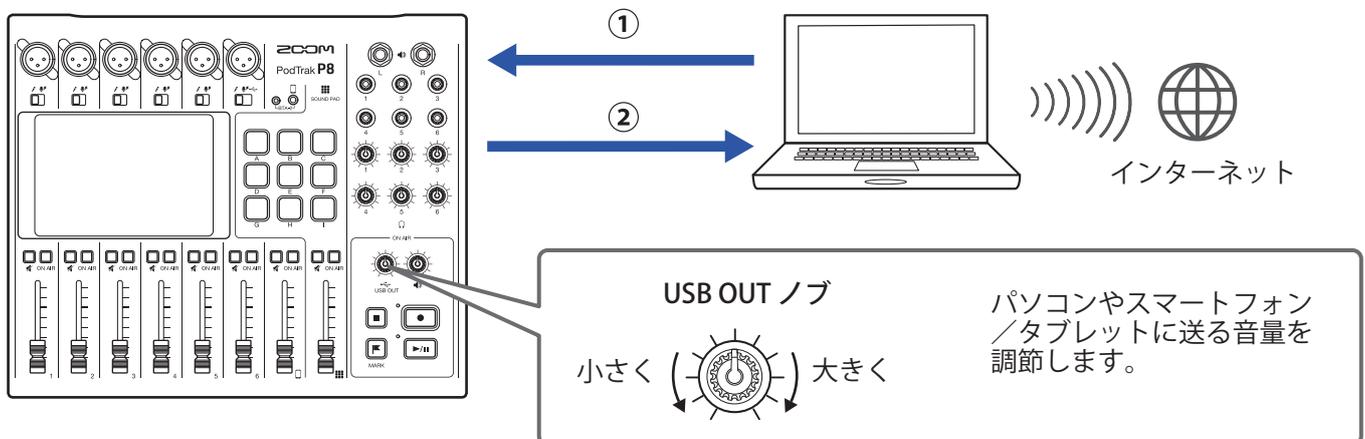
- ・タブレットモードがONのときは、USBバスパワーによる電源供給はできません。
- ・電池が未挿入の状態でもUSBバスパワーで駆動している場合は、**タブレットモード**のON/OFFは切り替えられません。
- ・次回**P8**を起動したときは、**タブレットモード**はOFFになります。

HINT

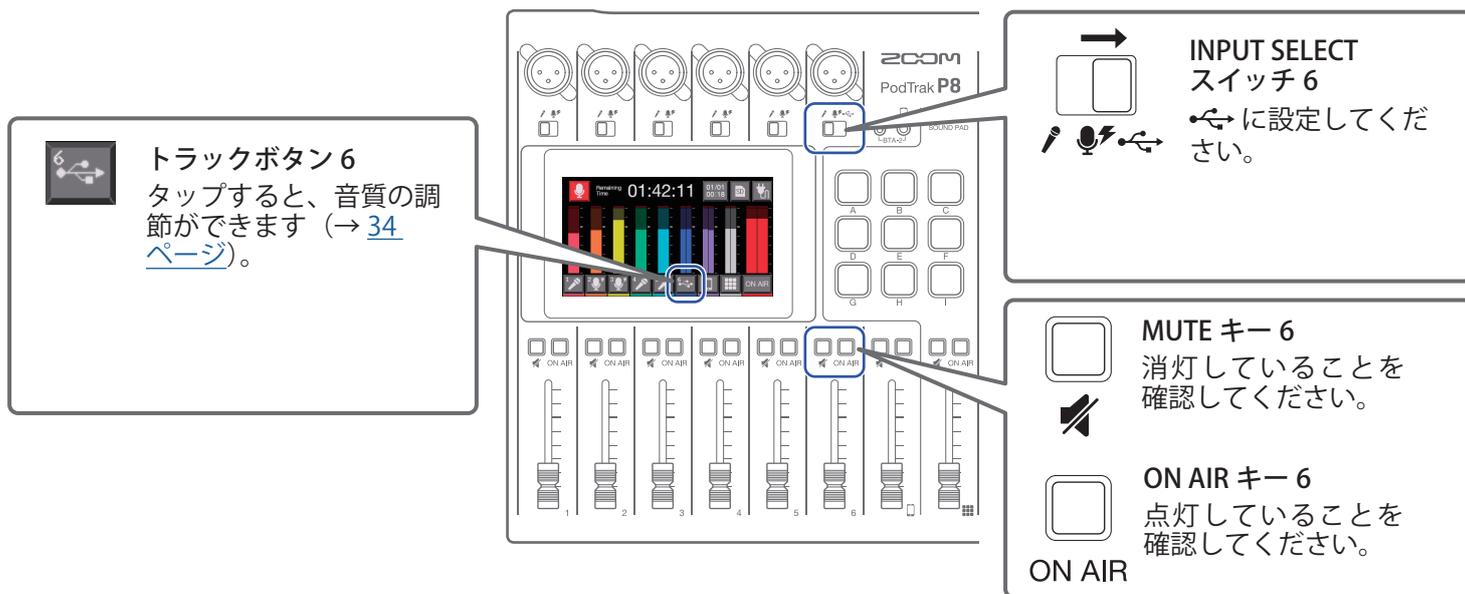
タブレットモードはUSBバスパワーによる電源供給ができないスマートフォン／タブレットからの電源供給を防ぐための機能です。

オーディオインターフェース機能について

P8は2in2outのオーディオインターフェースとして動作します。
オーディオインターフェース機能を使うと以下のことができます。



USB オーディオリターンをチャンネル 6 に入力する



接続先のパソコンなどで、入出力機器として **P8** を選択してください。

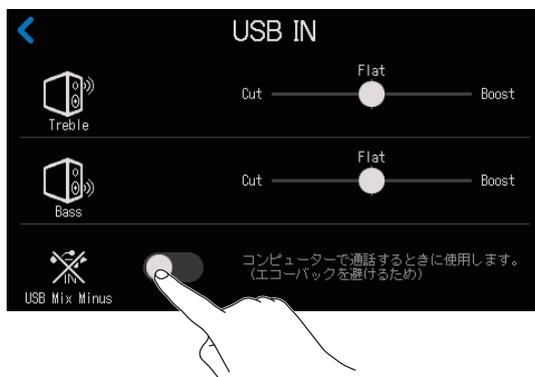
NOTE

パソコン上で「ZOOM P8 Audio」と表示されます。

USB Mix Minus の設定をする

P8 をオーディオインターフェースとして使用し通話するときに、通話先へのフィードバックを防ぐことができます。

1. ホーム画面で をタップする
2. ON/OFF ボタンをタップして **USB Mix Minus** の ON/OFF を切り替える

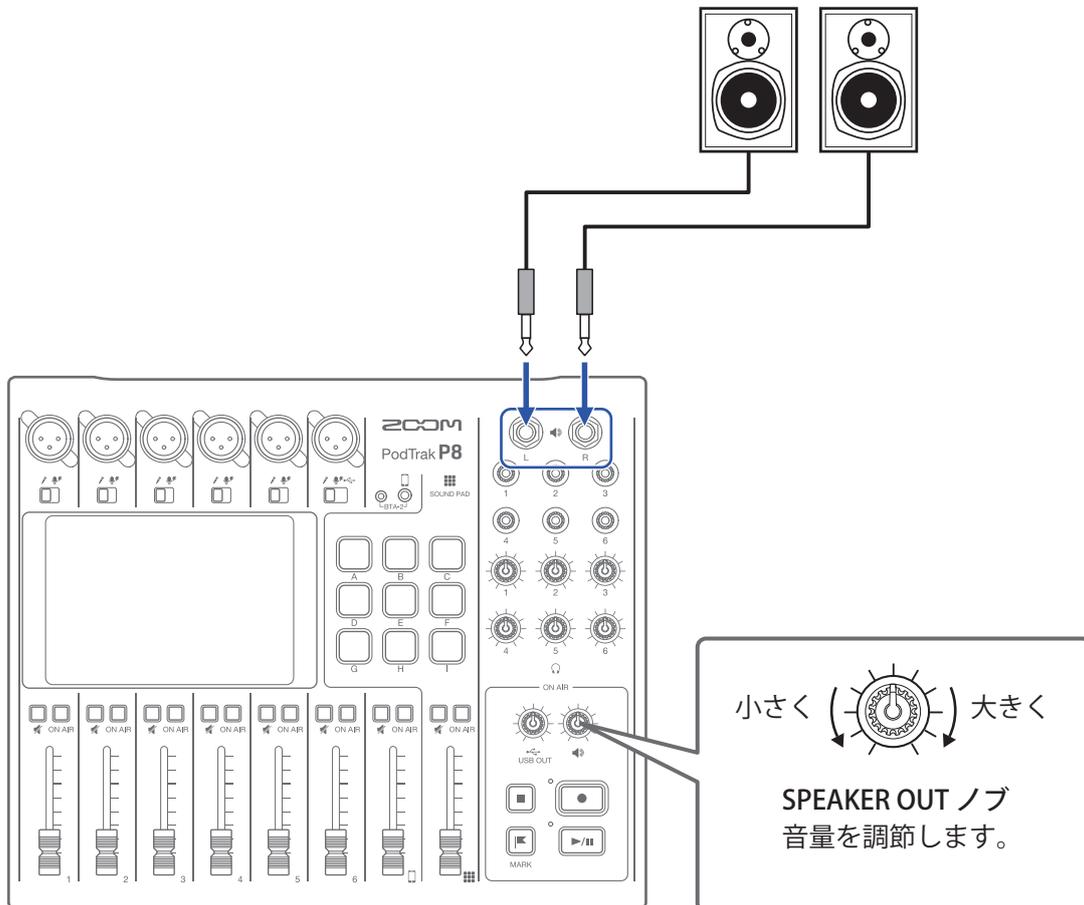


設定	説明
OFF	USB 入力した音声を USB 出力します。
ON	USB 入力した音声を USB 出力しません。

パワードスピーカーなどを接続する

パワードスピーカーなどの出力機器を接続すると、**P8** の音声を出力機器で再生することができます。大勢で録音したファイルの確認をしたり、録音ファイルの編集をするときなどに便利です。

パワードスピーカーなど
SPEAKER OUT 端子に接続します。



録音する

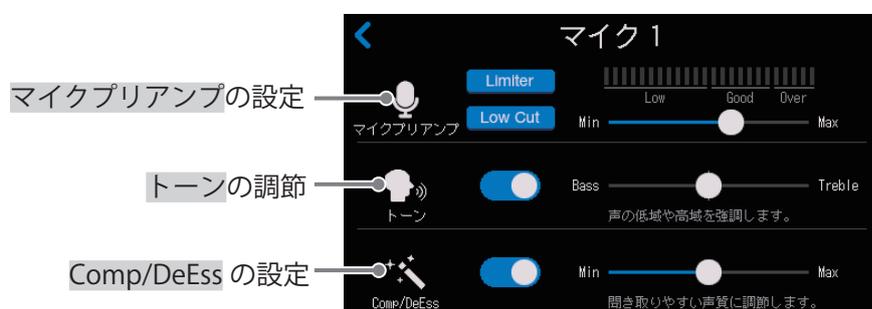
入力ゲイン／音質を調節する

音量が歪んだり小さすぎないように入力ゲインを調節したり、音質の調節をします。

ホーム画面でトラックボタン（ /  /  / ）をタップして、各トラックの設定画面を表示します。

/ をタップしたとき（マイク入力の調節）

マイク入力に関する以下の設定をすることができます。



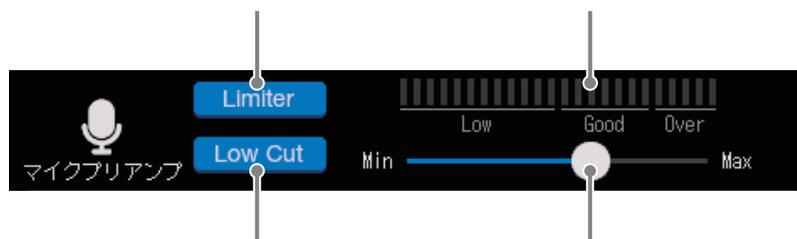
■ マイクプリアンプの設定をする

入力ゲインの調節や、低域カット、リミッターの ON/OFF 設定を行います。

■ Limiter 設定

ON にすると、レベルが高すぎる入力信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。

■ 入力レベルメーター



■ Low Cut 設定

ON にすると、低域をカットして、空調や風雑音、声のポップノイズなどを軽減できます。

■ 入力ゲイン調節

スライドして入力レベルメーター表示が「Good」になるように調節します。

HINT

- マイクの音量は、口との距離が近いと大きく、遠いと小さくなります。録音時は、入力ゲインを調節したときのマイクと口との距離を保つようにしてください。（マイクと口との標準的な距離は 10 cm ～ 20 cm です。）
- 入力ゲイン調節は INPUT SELECT スイッチを切り替えたときに自動的にリセットされます。

■ トーンの調節をする

声の低域や高域を強調してトーンの調節をします。



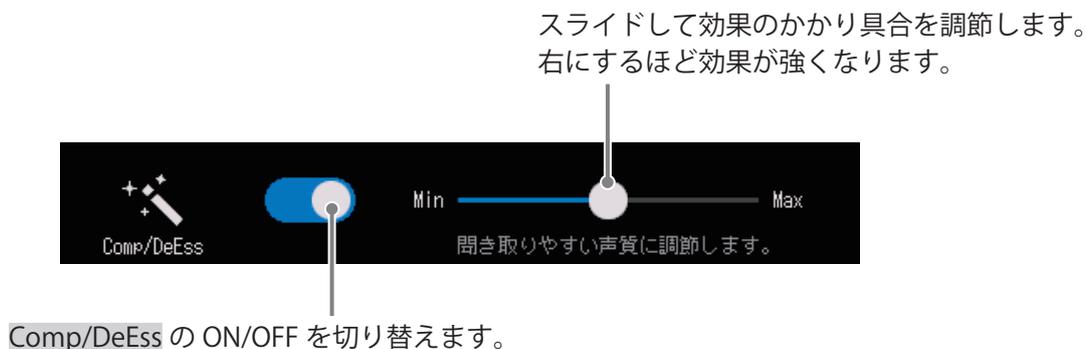
HINT

- ・ **P8** ではつまみが中央にあるときに低域と高域を少し強調しています。
- ・ スライダーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

■ Comp/DeEss の調節をする

コンプレッサー機能やディエッサー機能の効果で聞き取りやすい声質にします。ON/OFF の切り替え、かかり具合の調節をします。

- ・ コンプレッサー：一定のレベルを超えた入力音を圧縮して音を小さくし、全体の音量をそろえることができます。
- ・ ディエッサー：サ行などを発音するときに歯の隙間から漏れる歯擦音を抑えることによって聞きやすい声にします。



HINT

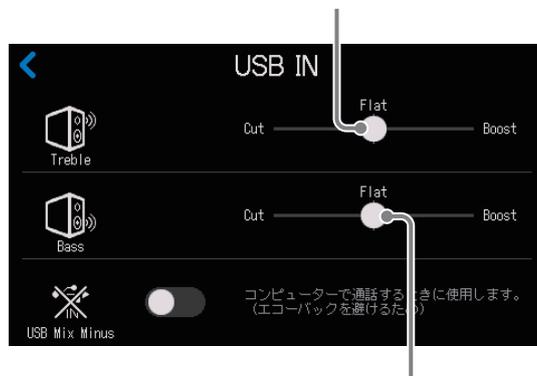
スライダーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

6 をタップしたとき（USB 入力の調節）

USB 入力の高域、低域のブースト／カットを行い、音質を調節することができます。

スライドして高域を調節します。

- ・ 左：カット
- ・ 右：ブースト



スライドして低域を調節します。

- ・ 左：カット
- ・ 右：ブースト

HINT

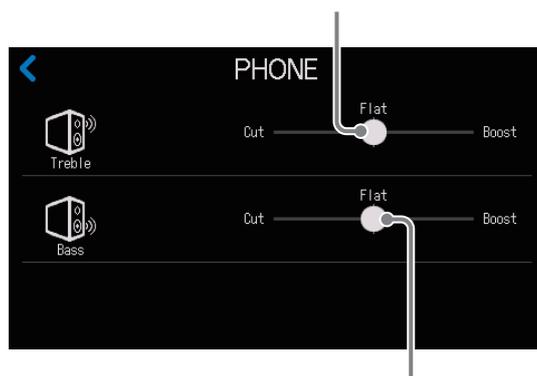
スライドバーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

をタップしたとき（スマートフォン入力の調節）

スマートフォン入力の高域、低域のブースト／カットを行い、音質を調節することができます。

スライドして高域を調節します。

- ・ 左：カット
- ・ 右：ブースト



スライドして低域を調節します。

- ・ 左：カット
- ・ 右：ブースト

HINT

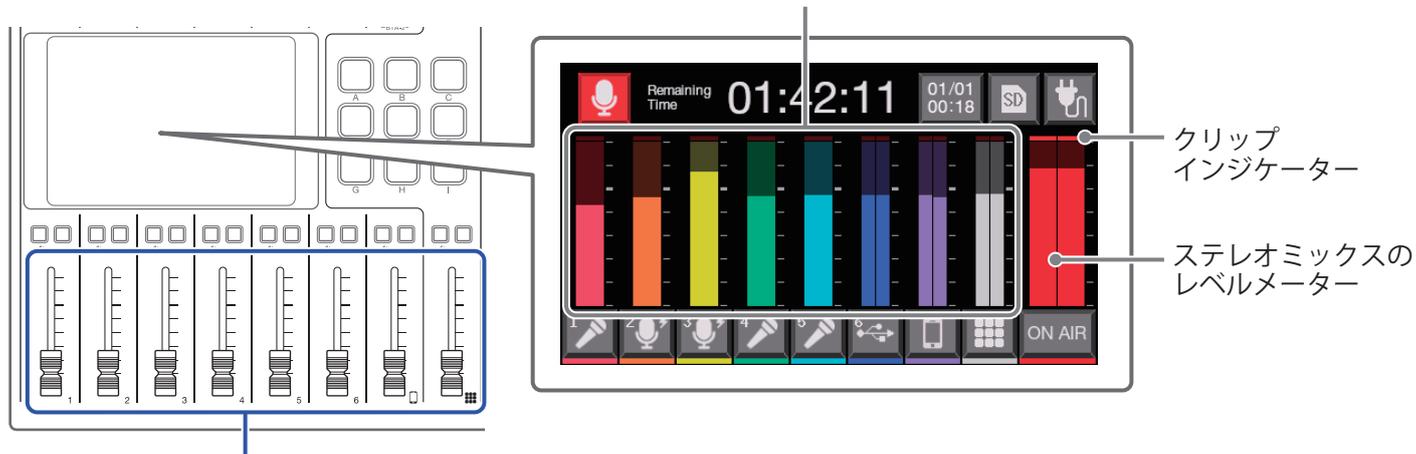
スライドバーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

各チャンネルの音量のバランスをとる

フェーダーを操作して各チャンネルのバランスを調節します。

音量はレベルメーターに表示されます。クリップインジケーターが点灯しないように調節します。

各チャンネルのレベルメーター



HINT

- レベルメーターのエリアをタップすると、レベルの目安を表示することができます。
- チャンネル6はマイク入力時はモノラル入力ですが、USB オーディオリターンを入力しているとき（INPUT SELECT スイッチ6を  に設定しているとき）はステレオ入力となりレベルメーターがステレオで表示されます。

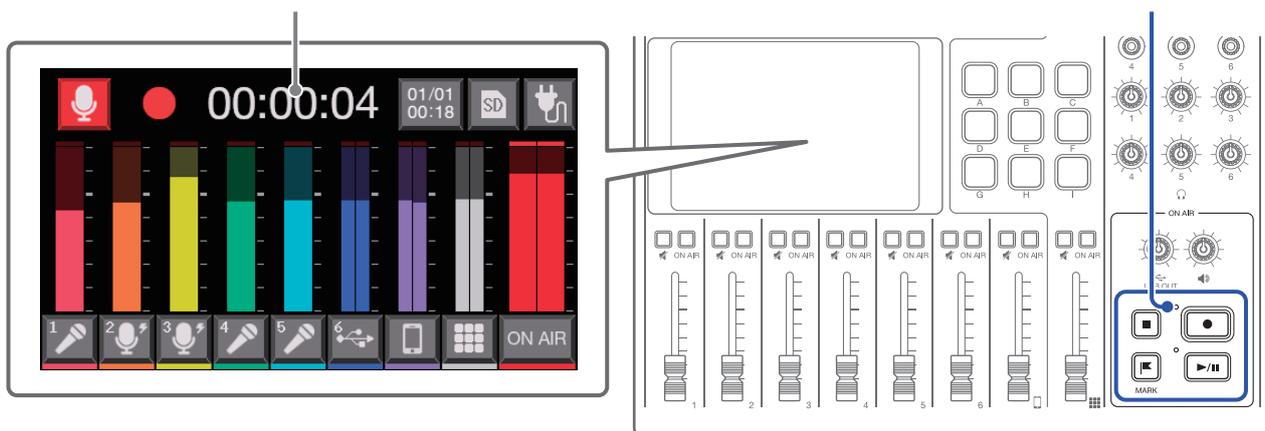
録音する

各チャンネルをミックスしたポッドキャスト用ステレオファイルに加え、各チャンネルも個別ファイルとして録音することができます。各チャンネルの個別ファイルは、エフェクトの有無を変更することもできます。録音するファイルの設定については、[79 ページ「録音するファイルを設定する」](#)を参照してください。

NOTE

ポッドキャスト用ステレオファイルは編集することができます。(→ [55 ページ「ファイルを編集する」](#))

録音中／一時停止中：録音経過時間を表示
録音停止中：録音可能時間を表示



1. ホーム画面で を押す

録音が始まり REC インジケータが赤色に点灯します。

録音中に  を押すと、録音を一時停止します (REC インジケータが点滅)。もう一度  を押すと、録音を再開します。

2. または を押す

録音が終了します。

録音中に  を押すと録音ファイルにマーク (→ [40 ページ](#)) が付加されます。編集時に目印となり便利です。

録音した各チャンネルの個別ファイルには、フェーダーの音量調節は反映されません。

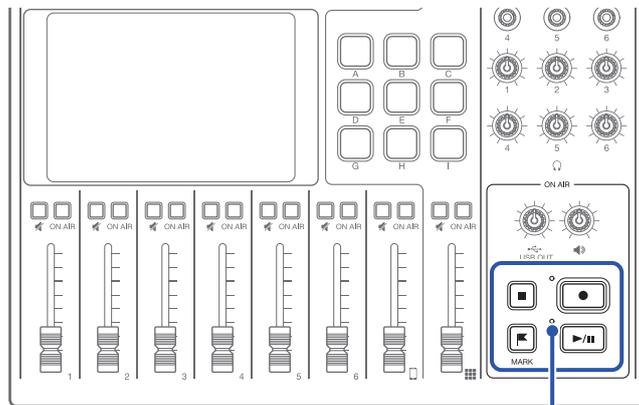
HINT

- チャンネル 6 で INPUT SELECT スイッチを  に設定しているときは、チャンネル 6 はステレオで録音されます。
- 使用しないチャンネルや一時的に入力をオフにしたいチャンネルは  を押してミュートします。
-  を消灯させたチャンネルに入力した音声は、ポッドキャスト用ステレオファイルに記録されないため、音楽を流している間に出演者間で次の話題の相談をする場合などに便利です。
- 録音したファイルは、録音開始日時 of ファイル名となります。後で変更することもできます。(→ [57 ページ「ファイルの名前を変更する」](#))
- 録音したファイルの保存場所については、[73 ページ「P8 のフォルダー・ファイル構成」](#)を参照してください。

再生する

ホーム画面から再生する

録音したファイルを再生できます。



PLAY インジケーター

1. ホーム画面で を押す

タッチスクリーンにファイル編集画面が表示され、最後に録音されたファイルの再生が始まります (PLAY インジケーターが緑色に点灯)。

 を押す度に再生／一時停止します (一時停止時は PLAY インジケーターが点滅)。

 を押すと再生を停止します。停止中もしくは一時停止中に  を押すと、ファイルの先頭に戻ります。



HINT

- ファイルを選択して再生する場合は、[38 ページ「ファイルを選択して再生する」](#)を参照してください。
- ファイル編集画面では、ファイルの編集、アイコンや名前の変更、SOUND PAD への割り当て、MP3 への変換などができます。

ファイルを選択して再生する

P8 で録音済みのファイルや SD カードに保存したファイルを選択して再生することができます。

■ ファイル形式について

下記のオーディオファイルを選択してください。

- フォーマット：WAV
- サンプルレート：44.1 kHz
- ビットレート：16/24-bit
- モノラル／ステレオ

NOTE

- P8 で非対応のファイルは、ファイル名がグレーアウトして選択できないか、選択時にエラーポップアップが表示されます。
- P8 で非対応でも、変換可能なファイルはファイルリスト画面での選択時に、対応しているファイル形式に変換できます。変換後のファイルを選択してください。
- サンプルレートを 44.1 kHz に変換後のファイルは「_441」がファイル名の末尾に付加された名称になります。
- MP3 を WAV に変換後のファイルは元の MP3 ファイルと同名になります。
- 変換後のファイルは新規作成されるので、元のファイルは残ります。

1. ホーム画面で をタップする

ファイルリスト画面が表示されます。

2. 再生したいオーディオファイルをタップする



再生ボタン

タップすると再生/停止
できます。

選択したオーディオファイルの編集画面が表示されます。

NOTE

- ファイルリスト画面の再生ボタンでファイルを再生する場合、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz の WAV ファイルは再生できますが、音程や再生速度が正しい状態では再生されません。
- WAV 以外のファイルは再生ボタンが表示されません。

3.  をタップまたは  を押す

ファイルの再生が始まります。再生中は PLAY インジケーターが緑色に点灯します。
再生中の操作については、[37 ページ「ホーム画面から再生する」](#)を参照してください。



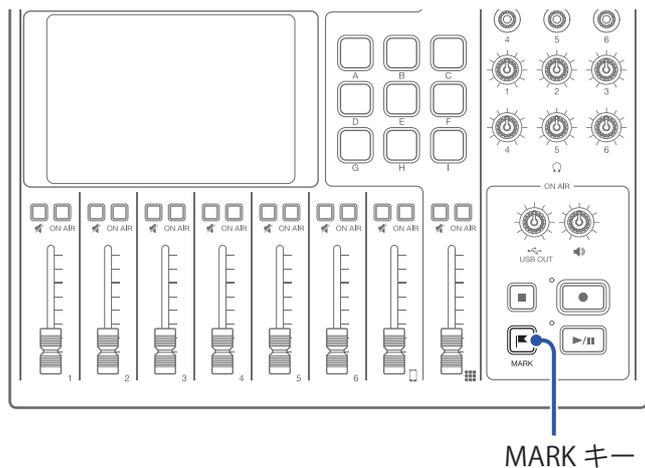
HINT

ファイルリスト画面について詳しくは、[49 ページ「ファイルを管理する」](#)を参照してください。

マークを使用する

録音中（→ [36 ページ](#)）やファイル編集画面表示中（→ [56 ページ](#)）に録音ファイルにマークを付加することができます。付加したマークはファイル編集画面に表示され、目印にしたリワンタッチで再生位置を移動したりすることができます。

マークを付加する



1. 録音中、ファイル編集画面表示中に を押す

録音中に押したとき

 を押したときの録音経過時間の場所にマークが付加されます。

ファイル編集画面表示中に押したとき

ファイル編集画面の再生位置バーの位置にマークが付加されます。
マークは再生中、一時停止中、停止中、いずれの場合も付加できます。

ファイル編集画面



マーク 
タップすると、再生位置バーがマークの位置まで移動します。

NOTE

ファイルの先頭にマークを付加することはできません。

マークを削除する

1. ファイル編集画面表示中（→ [56 ページ](#)）に削除したい  をタップまたは長押しする
長押しした場合は手順3へ進んでください。

ファイル編集画面



2.  を押す

3. **削除** をタップする



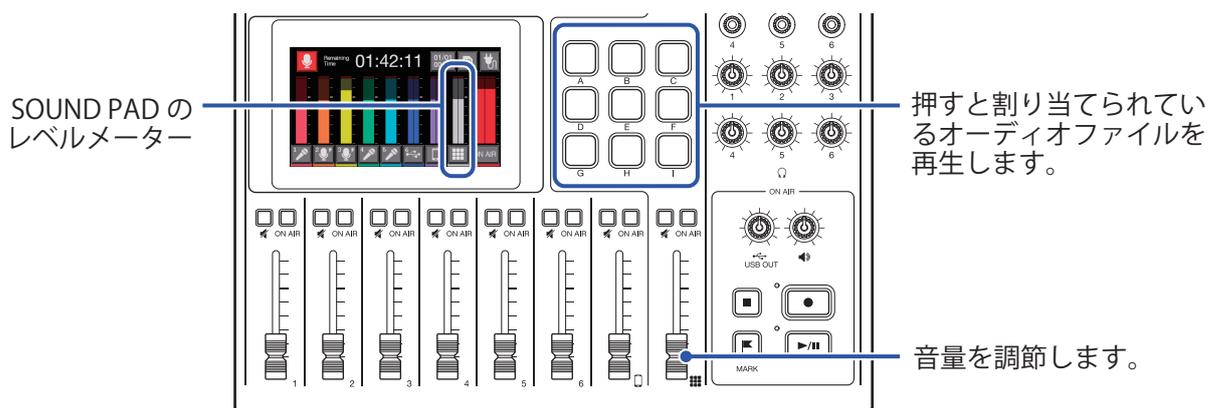
マークが削除され、ファイル編集画面に戻ります。

キャンセル を選択すると、削除をキャンセルします。

SOUND PAD を使用する

SOUND PAD はオーディオファイルを割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。9個の SOUND PAD × 4つのバンクで計 36 個のオーディオファイルを割り当てることができます。あらかじめ録音したインタビューを再生したり、オープニングやエンディング用の曲、ジングルを再生したいときに便利です。各パッドごとに、音量、再生方法を設定することもできます。

SOUND PAD を再生する



SOUND PAD 再生中は、再生している SOUND PAD が点滅します。

バンクを切り替える

SOUND PAD 設定画面では選択中のバンクが表示され、割り当てられているオーディオファイルが確認できます。4つのバンクを切り替えることによって、計 36 個のオーディオファイルを再生することができます。バンク名は変更することもできます。

1. ホーム画面で をタップする

SOUND PAD 設定画面が表示されます。

2. バンクを切り替える



オーディオファイルを SOUND PAD に割り当てる

SOUND PAD には内蔵音源や SD カードに保存されたオーディオファイルを割り当てることができます。あらかじめパソコンでオーディオファイルを SD カードの P8_Multitrack、P8_Settings フォルダ内以外の場所に保存しておいてください。(→ [72 ページ「パソコンやスマートフォン／タブレットにファイルを転送する」](#))

■ ファイル形式について

下記のオーディオファイルを割り当ててください。

- フォーマット：WAV
- サンプルレート：44.1 kHz
- ビットレート：16/24-bit
- モノラル／ステレオ

NOTE

- SOUND PAD への割り当てに非対応のファイルは、ファイル名がグレーアウトして選択できないか、選択時にエラーポップアップが表示されます。
- SOUND PAD への割り当てに非対応でも、変換可能なファイルはファイルリスト画面での選択時に、対応しているファイル形式に変換できます。変換後のファイルは自動的に割り当てられます。
- サンプルレートを 44.1 kHz に変換後のファイルは「_441」がファイル名の末尾に付加された名称になります。
- MP3 を WAV に変換後のファイルは元の MP3 ファイルと同名になります。
- 変換後のファイルは新規作成されるので、元のファイルは残ります。
- 88.2 kHz、96 kHz の WAV ファイルは SOUND PAD に割り当てることができますが、再生時、音程や再生速度が正しい状態では再生されません。
- 48 kHz の WAV ファイルは 44.1 kHz に変換するかどうかを選択できます。変換しない場合も SOUND PAD に割り当てることができますが、再生時、音程や再生速度が正しい状態では再生されません。

SOUND PAD 設定画面からオーディオファイルを割り当てる

1. ホーム画面で  をタップする
2. オーディオファイルを割り当てたい SOUND PAD ボタン (A ~ I) をタップする
必要に応じてバンクを切り替えてください (→ [42 ページ](#))。



選択中の SOUND PAD が点灯します。

3. ファイル名をタップする

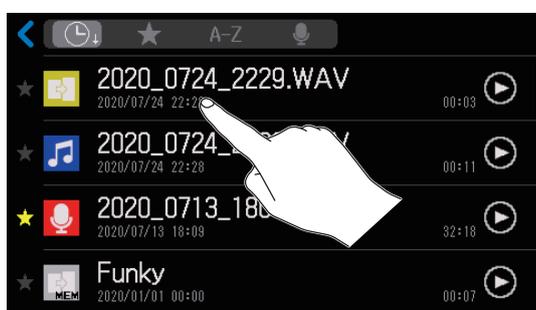


内蔵音源と SD カードに保存されているオーディオファイルのリストが表示されます。

HINT

SOUND PAD を押すと、オーディオファイルの割り当て先を変更することができます。

4. 割り当てたいオーディオファイルをタップする



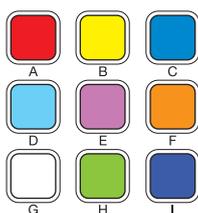
選択したオーディオファイルが SOUND PAD に割り当てられます。



割り当てられたオーディオファイル

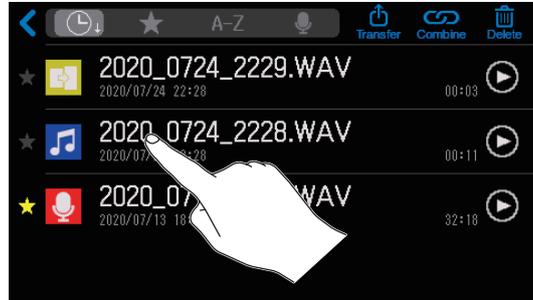
HINT

ホーム画面、SOUND PAD 設定画面表示中は、オーディオファイルが割り当てられた SOUND PAD は点灯します。SOUND PAD は割り当てられたファイルのアイコンと同じ色で光りますので、あらかじめファイルのアイコンの色を設定しておく、SOUND PAD の点灯色で再生音を判断することができ便利です。(→ [58 ページ「アイコンを変更する」](#))



ファイル編集画面からオーディオファイルを割り当てる

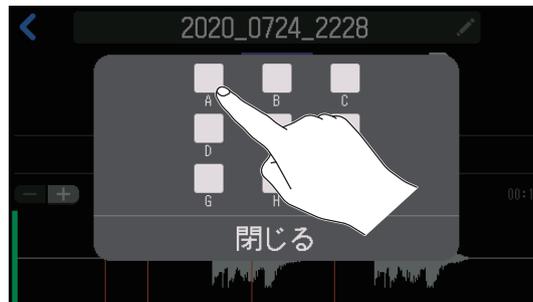
1. ホーム画面で  をタップする
2. 割り当てたいオーディオファイルをタップする



3.  をタップする



4. オーディオファイルを割り当てたい SOUND PAD ボタン (A ~ I) をタップする



選択した SOUND PAD に、手順 2 で選択したファイルが割り当てられます。

閉じるをタップすると割り当てをキャンセルします。

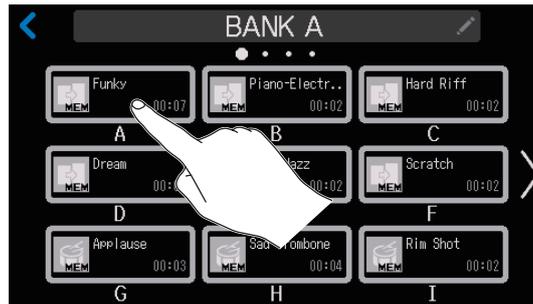
HINT

- 現在選択されているバンクの SOUND PAD にオーディオファイルが割り当てられます。
- ホーム画面、SOUND PAD 設定画面表示中は、オーディオファイルが割り当てられた SOUND PAD は点灯します。

各 SOUND PAD の音量を調節する

SOUND PAD ごとに再生する音量を調節することができます。
再生時の音量にばらつきがある場合、音量をそろえることができます。

1. ホーム画面で  をタップする
2. 音量を調節したい SOUND PAD ボタン (A ~ I) をタップする
必要に応じてバンクを切り替えてください (→ [42 ページ](#))。



3. スライドして音量を調節する



HINT

スライダーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

各 SOUND PAD の再生方法を設定する

SOUND PAD を押したときの再生方法を、SOUND PAD ごとに設定することができます。

1. ホーム画面で  をタップする
2. 再生方法を設定したい SOUND PAD ボタン (A～I) をタップする
必要に応じてバンクを切り替えてください (→ [42 ページ](#))。



3. お好みの再生方法をタップする



設定	説明
One Shot	押すたびに頭から再生し、終わりまで再生したら停止します。 ジングル、効果音などを再生するときに便利です。
Pause	押すたびに、再生・一時停止を交互に行い、終わりまで再生したら停止します。長押し(2秒)すると先頭に戻ります。 SOUND PAD を再生しながら、途中でコメントをはさみたいときなどに便利です。
Loop	押すたびに、再生・停止を交互に行い、停止するまでループ再生します。 BGM の再生などに便利です。
Hold	押している間ループ再生し、離すと停止します。 好きな長さで効果音を再生したいときに便利です。

バンクの名前を変更する

SOUND PAD のバンクには「BANK A」～「BANK D」と名前が付いていますが、バンクの名前を変更することができます。

1. ホーム画面で  をタップする

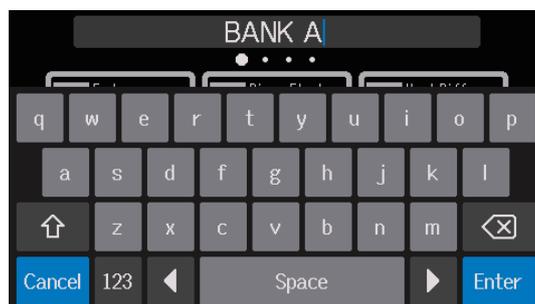
2.  をタップする

必要に応じてバンクを切り替えてください (→ [42 ページ](#))。



3. バンク名を入力する

文字の入力のしかたについては、[16 ページ「文字入力画面」](#)を参照してください。



ファイルを管理する

ファイルの管理はファイルリスト画面で行います。

ファイルリスト画面では、SD カード内のオーディオファイルの一覧が表示され、ファイルを選択したり、複数ファイルを一つにまとめたり、削除することができます。

NOTE

- P8_Multitrack フォルダ、P8_Settings フォルダ以下にあるオーディオファイルは表示されません。
- チャンネルごとの個別の録音ファイルはリストには表示されず、**P8** 上のファイル編集の対象ではありません。
- **P8** の内臓音源は SOUND PAD に割り当てるときのみファイルリスト画面に表示されます。
- ファイルリスト画面では各チャンネルの入力信号や SOUND PAD を押して再生した音声が **P8** から出力されなくなります。

1. ホーム画面で をタップする

ファイルリスト画面が表示されます。

ソートカテゴリ選択ボタン

タップしてファイルの並び順をソートします。

-  : ファイル作成日時順
-  : お気に入り登録／非登録
-  : ファイル名順
-  : アイコン順

ボタンをタップするごとに、昇順／降順を切り替えます。

USB ファイル転送モードにします。(→ [72 ページ](#))

複数のファイルを一つにまとめます。(→ [52 ページ](#))

ファイルを削除します。(→ [50 ページ](#))

ファイルアイコン
変更することもできます。
(→ [58 ページ](#))

お気に入りマーク
タップしてお気に入り
登録／解除します。
登録されている場合は
ハイライトします。



再生ボタン

タップすると再生／停止できます。

スクロールバー

バーをスライドすることでリストをスクロールできます。リスト自体をスライドしてスクロールすることもできます。

ファイルの長さ

ファイル名

タップすると選択したファイルの編集画面を表示し、ファイルの再生 (→ [37 ページ](#)) や編集 (→ [55 ページ](#)) ができます。ファイル名の下に作成日時が表示されます。

■ ファイルアイコンについて

オーディオファイルには初期アイコンとして以下のアイコンが表示されます。

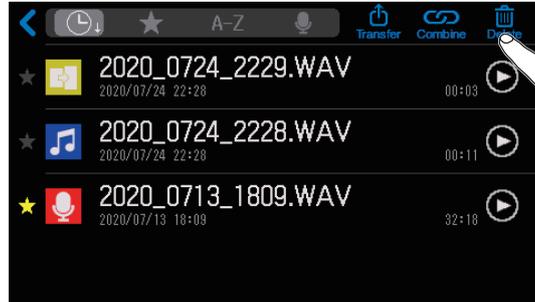
ファイルの種類	アイコン
P8 で録音したファイル	
複数のファイルを一つにまとめたエピソードファイル	
外部から SD カードに保存した WAV ファイル	
P8 の内臓音源	
MP3 ファイル	
WAV、MP3 以外のファイル	

ファイルを削除する

不要なファイルを削除することができます。

1. ホーム画面で  をタップする

2.  をタップする

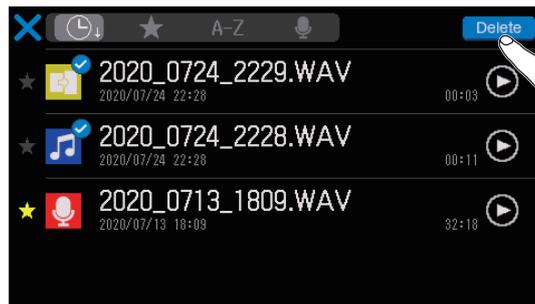


3. 削除したいファイルをタップする（複数選択可）

選択したファイルにはチェックマークが付きます。



4.  をタップする



 をタップすると、選択をキャンセルしファイルリスト画面に戻ります。

5. 削除をタップする



選択したファイルが削除され、ファイルリスト画面に戻ります。

キャンセルを選択すると、削除をキャンセルします。

複数のファイルの並び順を指定して一つのファイルにまとめる

複数のファイルをつなぎ合わせ、一つの配信用のファイルを作成することができます。

エピソードの最初と最後に定型のオープニング／エンディングを付けたり、会話の間に場面を切り替えるための短い効果音をはさむことができます。

つなぎ合わせ方の例



■ ファイル形式について

下記のオーディオファイルをまとめることができます。

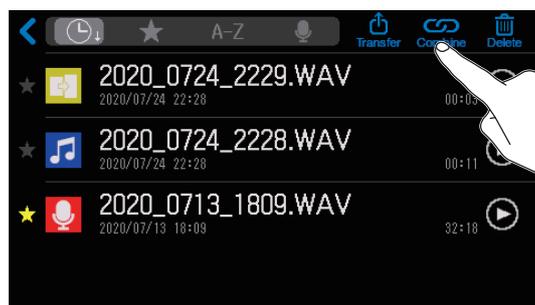
- フォーマット：WAV
- サンプルレート：44.1 kHz
- ビットレート：16/24-bit
- モノラル／ステレオ

NOTE

- まとめる際に対応していないファイルは、ファイル名がグレーアウトして選択できないか、選択時にエラーポップアップが表示されます。
- まとめる際に対応していないファイルは、あらかじめファイルリスト画面で選択すると、対応しているファイル形式に変換できる場合があります。変換しておけばファイルをまとめるのに使用することができます。

1. ホーム画面で  をタップする

2.  をタップする



3. まとめたファイルをタップする

選択したファイルが表示され、表示されている順に一つにまとめられます。一番左がファイルの先頭です。



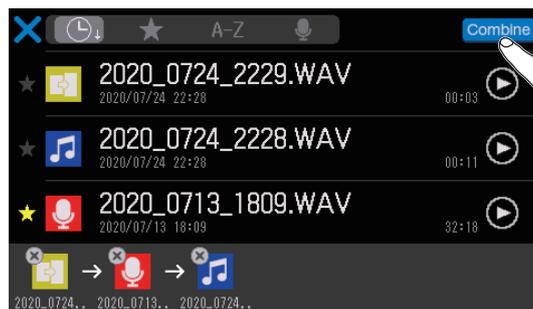
⊗ をタップすると、選択をキャンセルできます。
アイコンを長押ししてからスライドすると移動できます。移動先には縦線が表示されます。



NOTE

- 同一のファイルを複数回選択することもできます。
- 選択したファイルが画面からあふれた場合は、画面下部を左右にスライドすることでスクロールすることができます。
- 一度に 20 個までのファイルをまとめることができます。20 個選択するとファイルリスト画面のファイル名がすべてグレイアウトし、選択できなくなります。

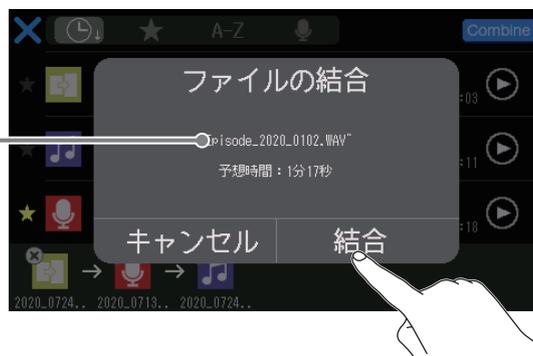
4. Combine をタップする



⊗ をタップすると、まとめるのをキャンセルしファイルリスト画面に戻ります。

5. 結合をタップする

一つにまとめられた後のファイル名



キャンセルを選択すると、まとめるのをキャンセルします。

6. 閉じるをタップする



選択したファイルを一つにまとめてエピソードファイルとして新規作成し、ファイルリスト画面に戻ります。



一つにまとめられたファイル

ファイルを編集する

P8 では、各チャンネルをミックスしたポッドキャスト用ステレオファイルを編集することができます。

■ ファイル形式について

下記のファイルを編集することができます。

- フォーマット：WAV
- サンプルレート：44.1 kHz
- ビットレート：16/24-bit
- モノラル／ステレオ

NOTE

- 各チャンネルの個別ファイルは編集することができません。
- **P8** で非対応のファイルは、ファイルリスト画面においてファイル名がグレーアウトして選択できないか、選択時にエラーポップアップが表示されます。
- **P8** で非対応でも、変換可能なファイルはファイルリスト画面での選択時に、対応しているファイル形式に変換できます。変換後のファイルを選択してください。
- サンプルレートをを 44.1 kHz に変換後のファイルは「_441」がファイル名の末尾に付加された名称になります。
- MP3 を WAV に変換後のファイルは元の MP3 ファイルと同名になります。
- 変換後のファイルは新規作成されるので、元のファイルは残ります。

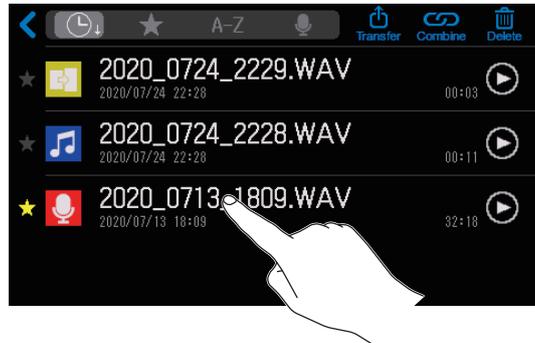
ファイル編集画面では、オーディオファイルの波形が表示され、以下のことを行うことができます。

- アイコン変更 (→ [58 ページ「アイコンを変更する」](#))
- 不要な部分のカット (→ [59 ページ「不要な部分をカットする \(トリミング\)」](#))
- ファイル分割 (→ [61 ページ「分割する」](#))
- フェードイン／フェードアウト (→ [63 ページ「フェードイン／フェードアウト」](#))
- BGM 付加 (→ [66 ページ「BGMなどを付加する」](#))
- ラウドネス ノーマライズ (→ [69 ページ「ポッドキャストに最適な音量に調整する \(ラウドネス ノーマライズ\)」](#))
- MP3 変換 (→ [71 ページ「MP3に変換する」](#))
- ファイル名の変更 (→ [57 ページ「ファイルの名前を変更する」](#))
- お気に入りの登録 (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))
- ファイル削除 (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))
- SOUND PAD に割り当て (→ [45 ページ「ファイル編集画面からオーディオファイルを割り当てる」](#))

ファイル編集画面を表示する

1. ホーム画面で  をタップする
ファイルリスト画面が表示されます。

2. 編集したいファイルをタップする



ファイル編集画面が表示されます。

アイコンを変更します。(→ [58 ページ](#)) ファイル名

★ : タップしてお気に入り登録／解除します。登録されている場合はハイライトします。

 : タップ→削除タップでファイルを削除します。

 : MP3 変換 (→ [71 ページ](#))

 : SOUND PAD へ割り当て (→ [45 ページ](#))

波形表示拡大／縮小ボタン

 : 波形表示を拡大します。細かな編集がしやすくなります。

 : 波形表示を縮小します。全体を確認するのに便利です。

再生位置バー

再生位置や編集位置を表示します。経過時間はバーの上に表示されます。

バーをスライドしたり波形表示をタップすると、位置を移動することができます。

マーク 

タップすると、位置表示バーがマークの位置まで移動します。

編集中にマークを追加したり、削除することもできます。(→ [40 ページ](#))

ファイル名を変更します。(→ [16 ページ](#))

波形表示

各編集画面を表示します。

 : 不要な部分のカット (→ [59 ページ](#))

 : ファイルの分割 (→ [61 ページ](#))

 : フェードイン／フェードアウト (→ [63 ページ](#))

 : BGM の付加 (→ [66 ページ](#))

 : 音量をそろえる (→ [69 ページ](#))

NOTE

ファイル編集画面では各チャンネルの入力信号や SOUND PAD を押して再生した音声は **P8** から出力されなくなります。

ファイルの名前を変更する

P8 で録音したファイルは録音開始日時のファイル名となりますが、後からファイル名を変更することができます。**P8** で録音したファイル以外もファイル名は変更できます。

1. 名前を変更したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))
2.  をタップする



3. ファイル名を入力する

文字の入力のしかたについては、[16 ページ「文字入力画面」](#)を参照してください。



アイコンを変更する

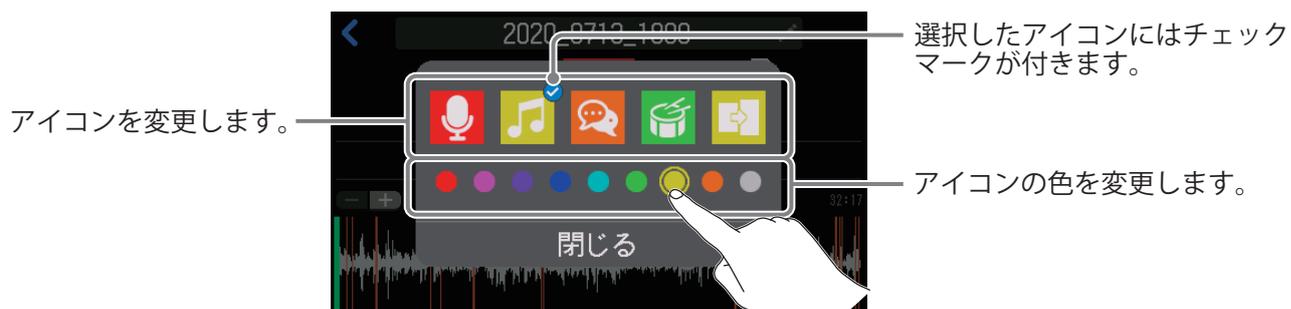
ファイルリスト画面やファイル編集画面で表示されるファイルのアイコンを変更することができます。
SOUND PAD の点灯色はファイルのアイコンの色と同じになります。

1. アイコンを変更したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))

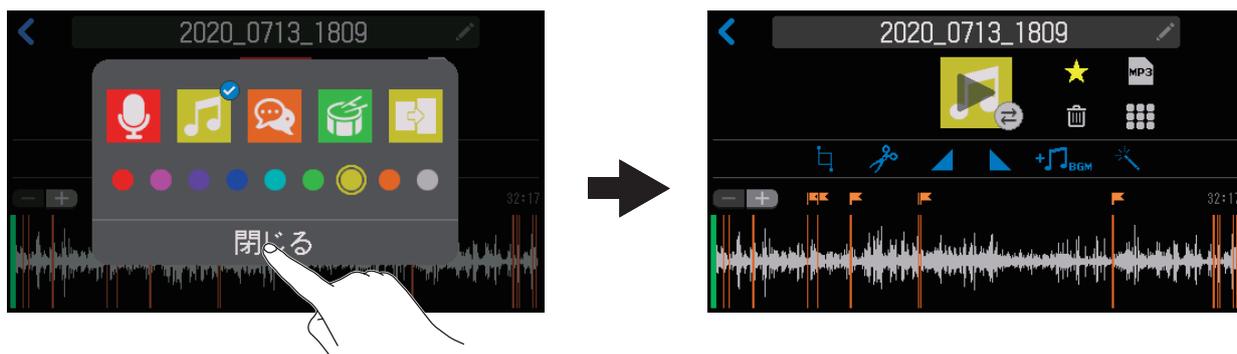
2.  をタップする



3. アイコンを変更する



4. 閉じるをタップする



不要な部分をカットする（トリミング）

ファイルの不要な部分をカットすることができます。

1. 不要な部分をカットしたいファイルの編集画面を表示させる（→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#)）
2.  をタップする



3. カットポイント A、B をスライドして設定し、**Execute** をタップする
カットポイント A より前、B より後（グレーアウト部分）がカットされます。



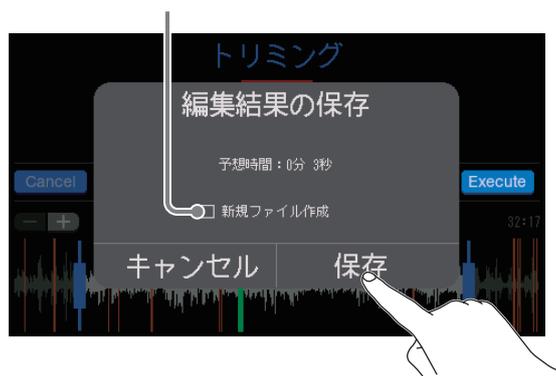
Cancel をタップすると、トリミングをキャンセルします。

HINT

- ファイルを再生しながら編集を行うことができます。再生のしかたについては [37 ページ「ホーム画面から再生する」](#) を参照してください。
-  をタップして波形表示を拡大すると、ポイントを細かく設定できます。

4. 保存をタップする

タップしてチェックを入れると、トリミングしたファイルを新たに作成します(トリミング前のファイルをそのまま残します)。



キャンセルを選択すると、トリミングをキャンセルします。

5. 閉じるをタップする



HINT

- 元のファイルにマークがある場合、トリミング後のファイルにもマークの情報が維持されます。
 - トリミングした後のファイルを新たに作成した場合、ファイル名は「_TRIM」がファイル名の末尾に付加された名称になります。
-

分割する

ファイルをお好みの位置で分割することができます。

1. 分割したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))

2.  をタップする

再生位置バーの位置がファイルの分割ポイントになります。



3. ファイル分割ポイントを設定し、**Execute** をタップする



ファイル分割ポイント

Cancel をタップすると、分割をキャンセルします。

■ ファイル分割ポイントを設定するには

波形表示をタップすると、タップした位置にファイル分割ポイントを設定します。



マークをタップするとマークの位置にファイル分割ポイントを設定します。

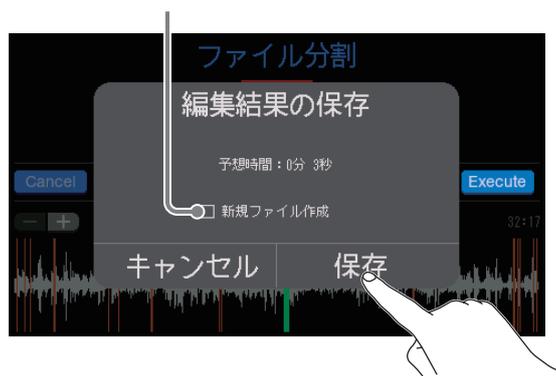
スライドしてファイル分割ポイントを設定します。

HINT

- ファイルを再生しながら編集を行うことができます。再生のしかたについては [37 ページ「ホーム画面から再生する」](#) を参照してください。
- **+** をタップして波形表示を拡大すると、ポイントを細かく設定できます。

4. 保存をタップする

タップしてチェックを入れると、分割するファイルを新たに作成します(分割前のファイルをそのまま残します)。



キャンセルを選択すると、分割をキャンセルします。

5. 閉じるをタップする



HINT

- 元のファイルにマークがある場合、分割後のファイルにもマークの情報が維持されます。
- 分割後のファイル名は、分割位置より前のファイルに「_A」、後のファイルに「_B」の文字が、ファイル名の末尾に付加された名称になります。

フェードイン／フェードアウト

ファイルの最初を無音から徐々に音量を上げたり（フェードイン）、ファイルの最後を徐々に無音まで音量を下げる（フェードアウト）ことができます。

フェードイン／フェードアウトはファイルの途中にも設定できます。

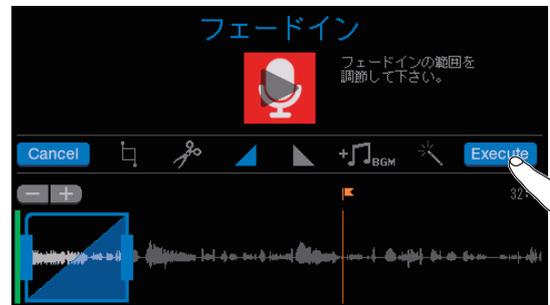
フェードイン

1. フェードインの効果を付与したいファイルの編集画面を表示させる（→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#)）

2.  をタップする



3. フェードイン枠をスライドして任意の範囲に設定し、**Execute** をタップする



フェードイン枠
この間でフェードインします。

Cancel をタップすると、フェードインをキャンセルします。

HINT

- ファイルを再生してフェードインの効果を確認できます。再生のしかたについては [37 ページ「ホーム画面から再生する」](#) を参照してください。
- **+** をタップして波形表示を拡大すると、ポイントを細かく設定できます。

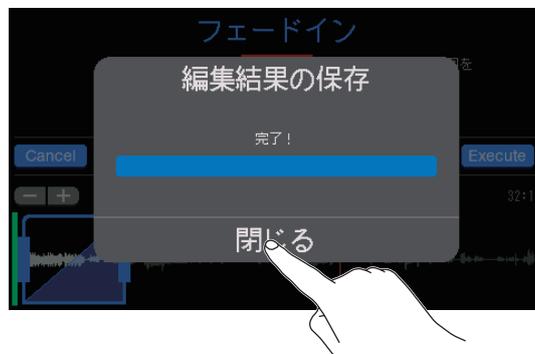
4. 保存をタップする

タップしてチェックを入れると、フェードインの効果が付与したファイルを新たに作成します（効果を付与する前のファイルをそのまま残します）。



キャンセルを選択すると、フェードインをキャンセルします。

5. 閉じるをタップする



HINT

フェードインの効果が付与したファイルを新たに作成した場合、ファイル名は「_FADEIN」がファイル名の末尾に付加された名称になります。

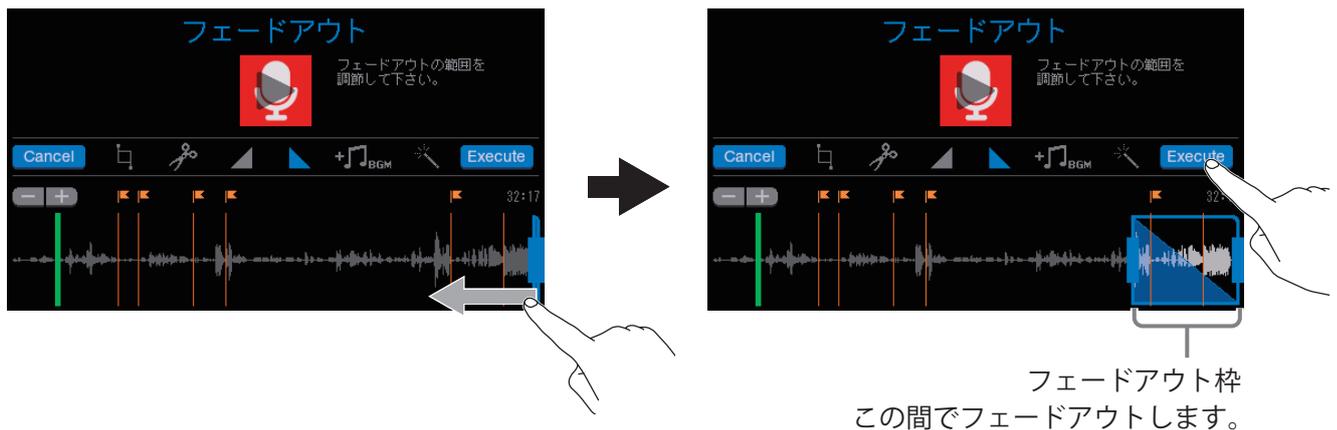
フェードアウト

1. フェードアウトの効果が付与したいファイルの編集画面を表示させる（→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#)）

2.  をタップする



3. フェードアウト枠をスライドして任意の場所に設定し、Execute をタップする



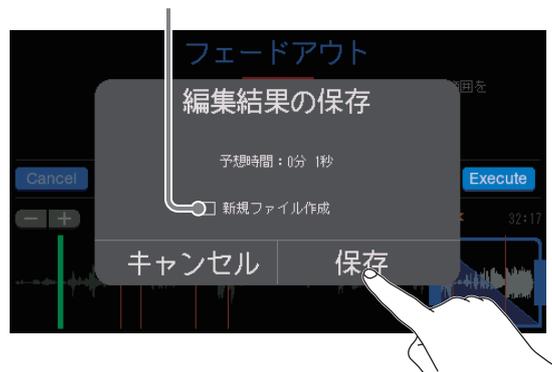
Cancel をタップすると、フェードアウトをキャンセルします。

HINT

- ファイルを再生してフェードアウトの効果を確認できます。再生のしかたについては [37 ページ「ホーム画面から再生する」](#) を参照してください。
- **+** をタップして波形表示を拡大すると、ポイントを細かく設定できます。

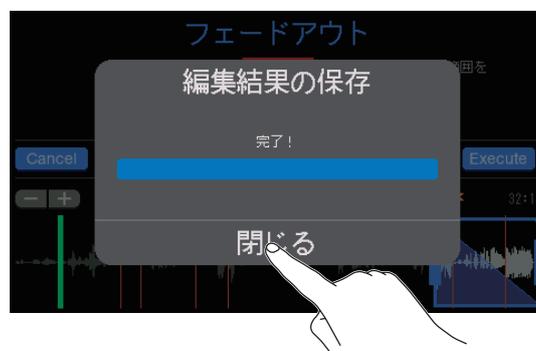
4. 保存をタップする

タップしてチェックを入れると、フェードアウトの効果を付与したファイルを新たに作成します（効果を付与する前のファイルをそのまま残します）。



キャンセルを選択すると、フェードアウトをキャンセルします。

5. 閉じるをタップする



HINT

フェードアウトの効果を付与したファイルを新たに作成した場合、ファイル名は「_FADEOUT」がファイル名の末尾に付加された名称になります。

BGMなどを付加する

オーディオファイルにBGMを付加することができます。

あらかじめパソコンでBGMに使用するオーディオファイルをSDカードのP8_Multitrack、P8_Settingsフォルダ内以外の場所に保存しておいてください。(→ [72ページ「パソコンやスマートフォン/タブレットにファイルを転送する」](#))

■ ファイル形式について

BGMには下記のオーディオファイルを使用してください。

- フォーマット：WAV
- サンプルレート：44.1 kHz
- ビットレート：16/24-bit
- モノラル/ステレオ

NOTE

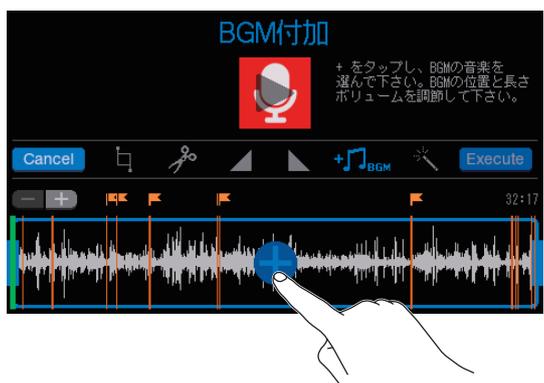
- 選択中のファイルと同じファイルをBGMとして付加することはできません。ファイル名がグレーアウトします。
- BGMとして非対応のファイルは、ファイル名がグレーアウトして選択できないか、選択時にエラーポップアップが表示されます。
- BGMとして対応していないファイルは、あらかじめファイルリスト画面で選択すると、対応しているファイル形式に変換できる場合があります。変換しておけばBGMとして使用することができます。

1. BGMを付加したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))

2.  をタップする



3.  をタップする

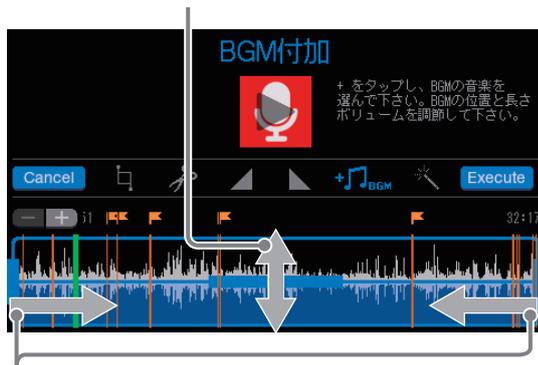


4. 付加する BGM のファイルをタップする



5. BGM を付加したいエリアと BGM の音量を設定し、Execute をタップする

上下にスライドして BGM の音量を設定します。



左右にスライドして BGM を付加するエリアを設定します。



付加された BGM は、設定した範囲内で繰り返し再生されます。

Cancel をタップすると、BGM の付加をキャンセルします。

HINT

- ファイルを再生して BGM の付加の効果を確認できます。再生のしかたについては [37 ページ「ホーム画面から再生する」](#) を参照してください。
- ファイルの再生中は BGM の音量のみ変更できます。
- **+** をタップして波形表示を拡大すると、ポイントを細かく設定できます。

6. 保存をタップする

タップしてチェックを入れると、BGM を付加したファイルを新たに作成します (BGM 付加前のファイルをそのまま残します)。



キャンセルを選択すると、BGM 付加をキャンセルします。

7. 閉じるをタップする



HINT

BGM を付加したファイルを新たに作成した場合、ファイル名は「_BGM」がファイル名の末尾に付加された名称になります。

ポッドキャストに最適な音量に調整する(ラウドネス ノーマライズ)

ファイル全体のラウドネスレベルを解析し、自動的にポッドキャスト向けに音量を最適化することができます。

1. 音量を最適化したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))
2.  をタップする



3. **Execute** をタップする



Cancel をタップすると、ラウドネス ノーマライズをキャンセルします。

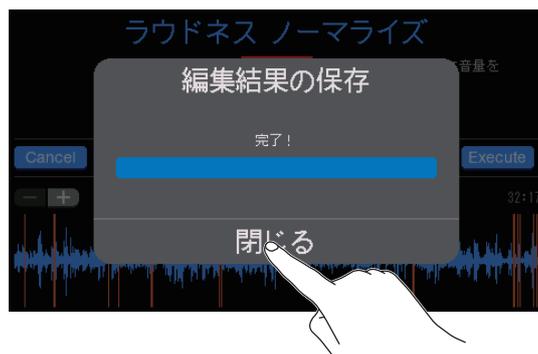
4. **保存** をタップする

タップしてチェックを入れると、ラウドネス ノーマライズしたファイルを新たに作成します(ラウドネス ノーマライズ前のファイルをそのまま残します)。



キャンセル を選択すると、ラウドネス ノーマライズをキャンセルします。

5. 閉じるをタップする



HINT

ラウドネス ノーマライズしたファイルを新たに作成した場合、ファイル名は「_NORM」がファイル名の末尾に付加された名称になります。

MP3 に変換する

P8 で録音した WAV ファイルを、ポッドキャスト用に MP3 に変換することができます。

1. MP3 に変換したいファイルの編集画面を表示させる (→ [56 ページ「ファイル編集画面を表示する」](#))

2.  をタップする



3. **書き出し** をタップする



キャンセル を選択すると、MP3 変換をキャンセルします。

4. **閉じる** をタップする



HINT

MP3 変換したファイルのファイル名は、WAV ファイルと同名になります。

パソコンやスマートフォン／タブレットにファイルを転送する

個別のファイルとして録音した各チャンネルの入力信号や SOUND PAD を押して再生した音声は、パソコンなどに転送することによって、後からバランスを調節したり、エフェクトを加えたり、長さの調節をしたりなど、さまざまな編集を行うことができます。編集後はお使いのホスティングサービスやサーバーにアップロードしてください。

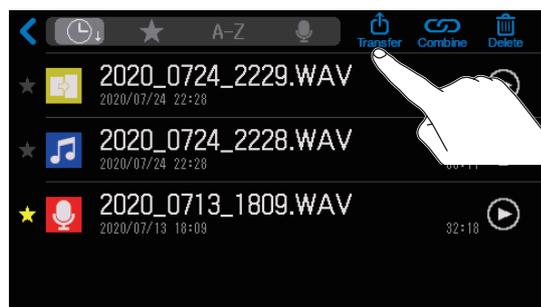
パソコンやスマートフォン／タブレットにファイルを転送する

録音したファイルをパソコンやスマートフォン／タブレットに転送できます。

1. ホーム画面で  をタップする

2.  をタップする

USB ファイル転送画面が表示されます。



3. P8 とパソコンやスマートフォン／タブレットを USB ケーブルで接続する (→ [28 ページ「パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する」](#))

スマートフォン／タブレットと接続するときは、**タブレットモード**を ON にしてください。(→ [29 ページ「スマートフォン／タブレットと接続するとき」](#))

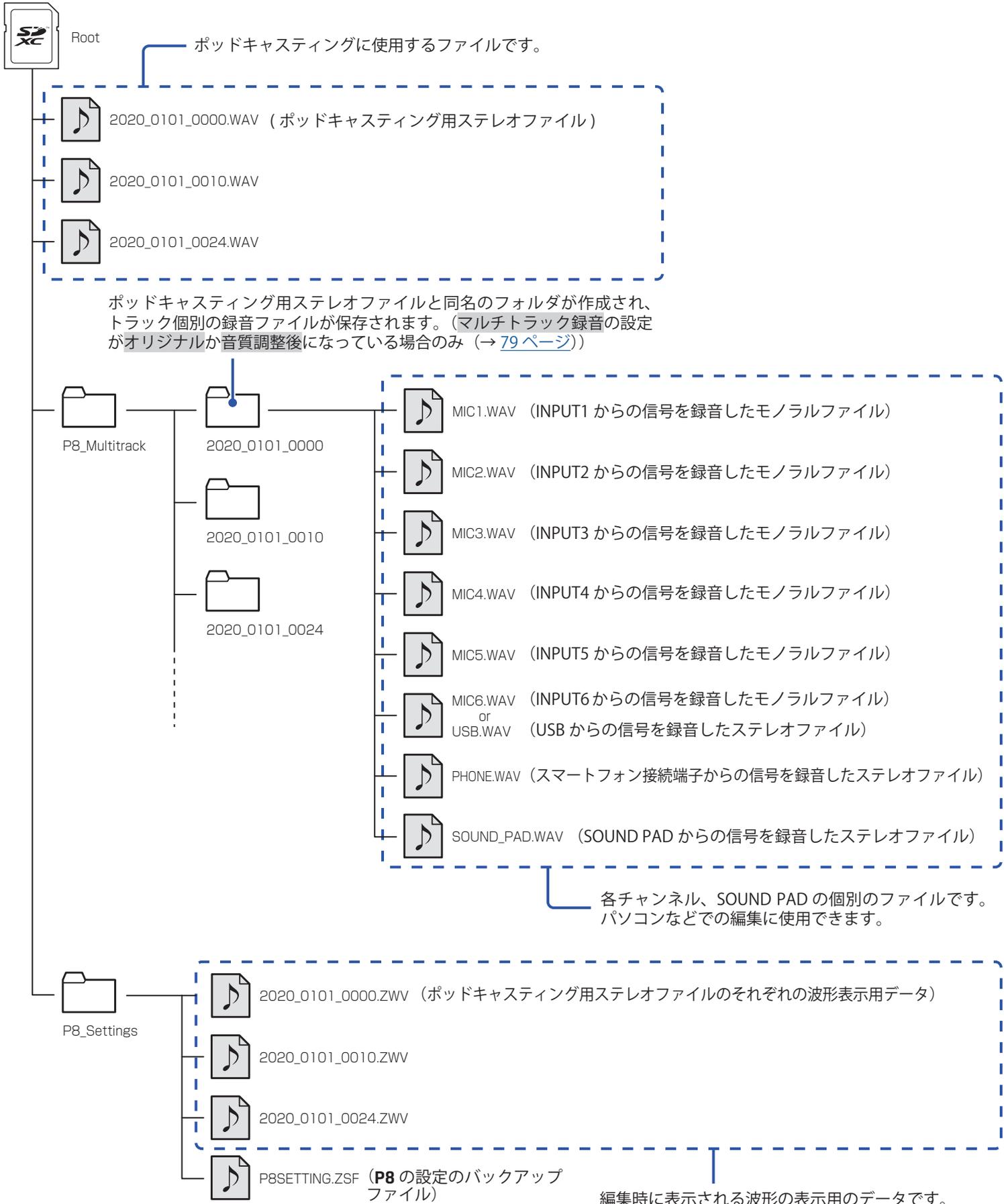
4. パソコンなどを操作して必要なファイルを転送する

NOTE

- USB ファイル転送画面が表示されているとき、他の機能、キーは使用することができません。また、各チャンネルの入力信号や SOUND PAD を押して再生した音声は P8 から出力されなくなります。
- ホーム画面で  をタップして表示される SD カード画面で  をタップして、USB ファイル転送画面に移動することもできます。

P8 のフォルダー・ファイル構成

P8 で録音すると、SD カードに次のようなフォルダー・ファイルが作成されます。



日時を修正する

日付／時刻は、録音したファイルに記録され、ファイル名は録音開始日時となります。正しい日付／時刻を設定することで、ファイル名でファイルの内容を判断したりなど、ファイル検索時に便利です。

1. ホーム画面で日時表示 () をタップする

2.  /  をタップして、年、月、日、時、分を設定する



タッチスクリーンの表示言語を変更する

タッチスクリーンに表示する言語を変更することができます。

1. ホーム画面で日時表示 (01/01
00:00) をタップする
2. タッチスクリーンに表示する言語をタップする



電池の種類を設定する

電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく選択します。

1. ホーム画面で電源ボタン（ /  / ）をタップする
2. 使用する電池の種類をタップする

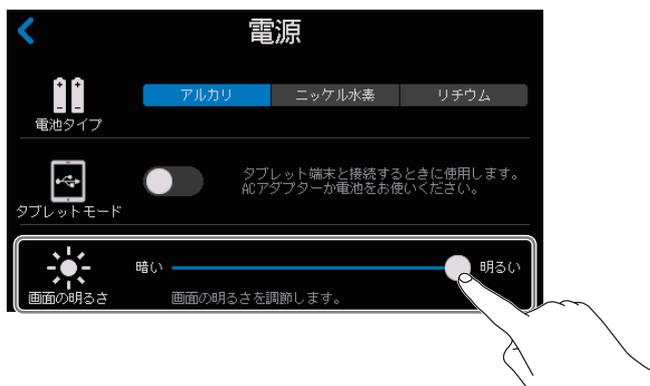


設定値	説明
アルカリ	アルカリ乾電池
ニッケル水素	ニッケル水素蓄電池
リチウム	リチウム乾電池

タッチスクリーンの明るさを調節する

タッチスクリーンの明るさを調節します。

1. ホーム画面で電源ボタン（ /  / - 2. スライドしてタッチスクリーンの明るさを調節する



HINT

スライダーかつまみをダブルタップすると、初期設定に戻すことができます。

ノイズリダクションの設定をする

ノイズリダクションの ON/OFF の設定をします。

P8 に搭載されているノイズリダクションは、複数のマイクを使用して音声収録をするときに、発言していない人のマイク入力を自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを一定のレベルに抑える機能です。

1. ホーム画面で **ON AIR** をタップする
2. ON/OFF ボタンをタップしてノイズリダクションの ON/OFF を設定する



録音するファイルを設定する

SD カードに録音されるファイルの設定をします。

全ての入力をステレオにミックスした音声のみ録音したり、各チャンネル（マイク入力、USB 入力、スマートフォン入力、SOUND PAD）を個別のファイルとして同時に録音することができます。

個別のファイルはパソコンなどに転送することによって、後からバランスを調節したり、エフェクトを加えたり、長さの調節をしたりなど、さまざまな編集を行うことができます。

1. ホーム画面で **ON AIR** をタップする
2. 録音するファイルの設定をタップする



設定値	説明
オフ	ポッドキャスト用ステレオファイルのみ記録します。
オリジナル	ポッドキャスト用ステレオファイルに加え、各チャンネルも個別ファイルとして記録します。各チャンネルの個別ファイルは、トーンや Comp/DeEss などの通過前、フェーダー通過前のデータが記録されます。
音質調整後	ポッドキャスト用ステレオファイルに加え、各チャンネルも個別ファイルとして記録します。各チャンネルの個別ファイルは、トーンや Comp/DeEss などの通過後、フェーダー通過前のデータが記録されます。

NOTE

設定値による、各チャンネル個別の録音ファイルにかかるエフェクトに関してはミキサーブロックダイアグラムを参照してください。(→ [93 ページ「ミキサーブロックダイアグラム」](#))

SD カードをテストする

SD カードが **P8** で使用可能かどうかテストします。

短時間で行うクイックテストと、SD カードの全領域を検査するフルテストがあります。

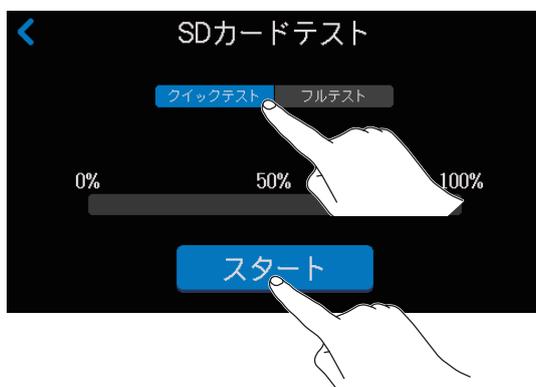
簡易テストを行う

1. ホーム画面で  をタップする

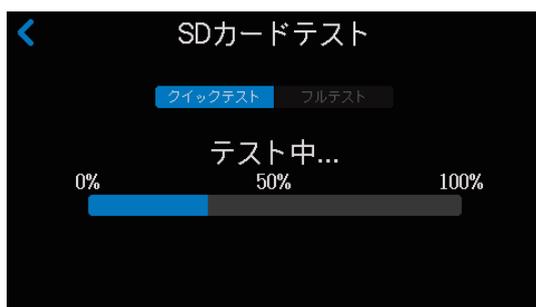
2.  をタップする



3. クイックテスト → スタート をタップする



カードの性能テストが始まります。テストには 30 秒ほどかかります。



テストが終了すると、判定結果が表示されます。



NOTE

性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

HINT

テストの途中で  をタップすると、テストを中止することができます。

フルテストを行う

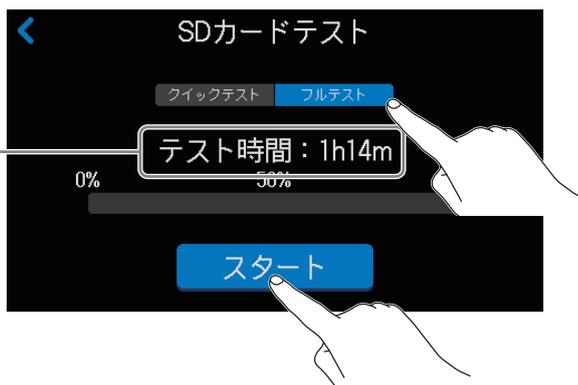
1. ホーム画面で  をタップする

2.  をタップする



3. フルテスト → スタート をタップする

テストにかかるおよその時間が表示されます。



カードの性能テストが始まります。



テストが終了すると、判定結果が表示されます。

レートの最大が 100%になると NG となります。



NOTE

性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きないことを保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

HINT

テストの途中で  をタップすると、テストを中止することができます。

SD カードを初期化する

SD カードの性能を最大限に発揮させるため、**P8** 用に初期化します。

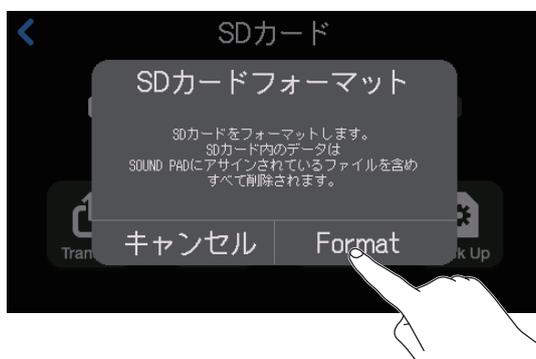
市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **P8** で初期化する必要があります。SD カードを初期化すると、SOUND PAD にアサインされたファイルを含む全てのデータは消去されますので、ご注意ください。

1. ホーム画面で  をタップする

2.  をタップする



3. **Format** をタップする



カードが初期化されます。

キャンセル をタップすると、初期化をキャンセルします。

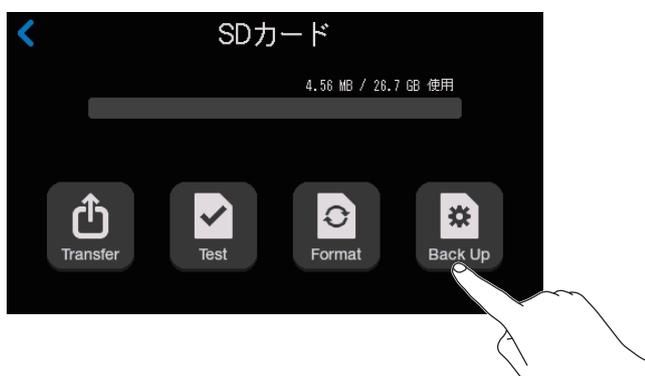
設定を SD カードにバックアップ／ロードする

各チャンネルの入出力や SOUND PAD、録音や電源に関する設定を SD カードにバックアップしておくことができます。よく使う設定をバックアップしておくると便利です。

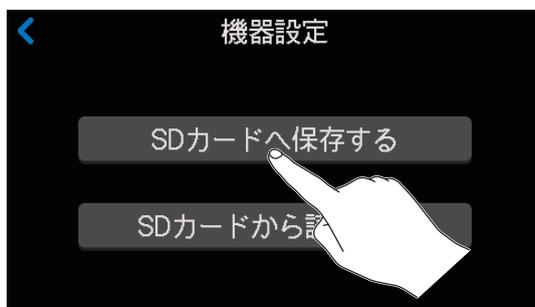
バックアップする

1. ホーム画面で  をタップする

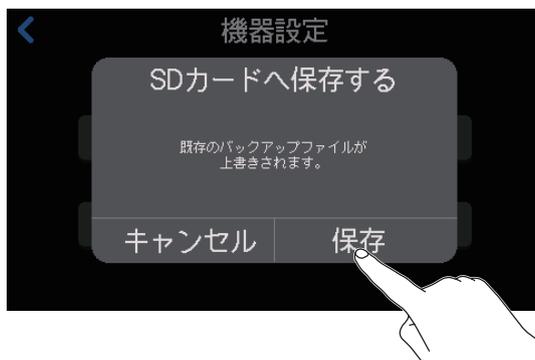
2.  をタップする



3. SD カードへ保存するをタップする



SD カード内に既存のバックアップファイルがある場合は保存をタップします。



キャンセルをタップすると、バックアップをキャンセルします。

4. 閉じるをタップする



現在の設定が SD カードにバックアップされます。

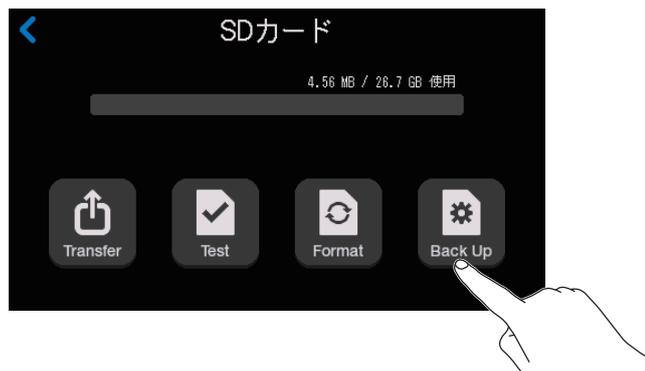
NOTE

- 1 枚の SD カードにバックアップできる設定は 1 つです。すでに SD カードにバックアップファイルが存在する場合、上書き保存され、古い設定は削除されます。
- 以下のものはバックアップされません。
チャンネルフェーダーの位置、PHONES ノブの位置、USB OUT ノブの位置、SPEAKER OUT ノブの位置、日付と時刻設定、言語設定、タブレットモード設定、SOUND PAD に割り当てられているファイル

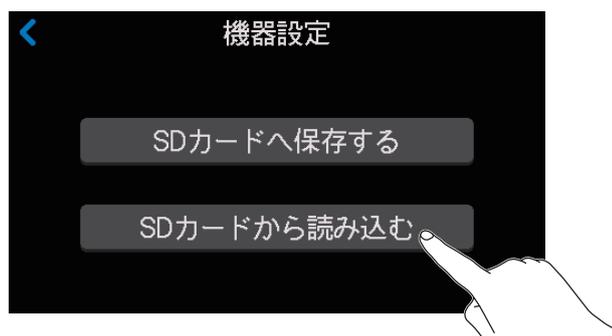
バックアップをロードする

1. ホーム画面で  をタップする

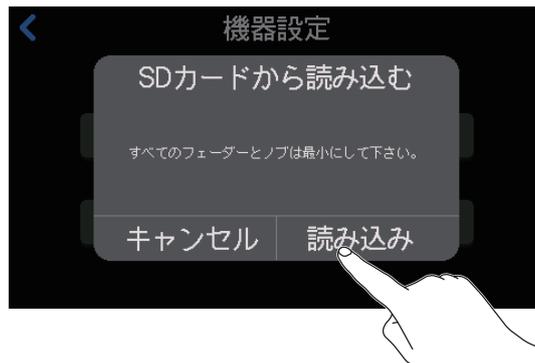
2.  をタップする



3. SD カードから読み込むをタップする



4. 読み込みをタップする



キャンセルをタップすると、バックアップのロードをキャンセルします。

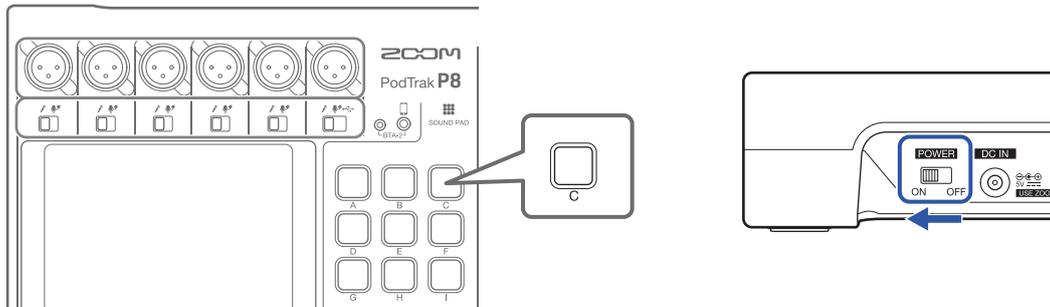
NOTE

ゲインの設定が読み込まれ急に大きな音声が出力される可能性があります。必ずすべてのフェーダーとノブを最小にしてから読み込みを実行してください。

電源の自動 OFF 機能を設定する

P8 は AC アダプターで駆動中、操作をしない状態で 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。常に電源を ON にしたい場合は、電源の自動 OFF 機能の設定を OFF にしてください。

1.  を押しながら  を ON にする



2. ON/OFF ボタンをタップして設定を選択する



設定値	説明
ON	操作をしない状態で 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
OFF	電源が自動的に切れません。

3.  をタップする

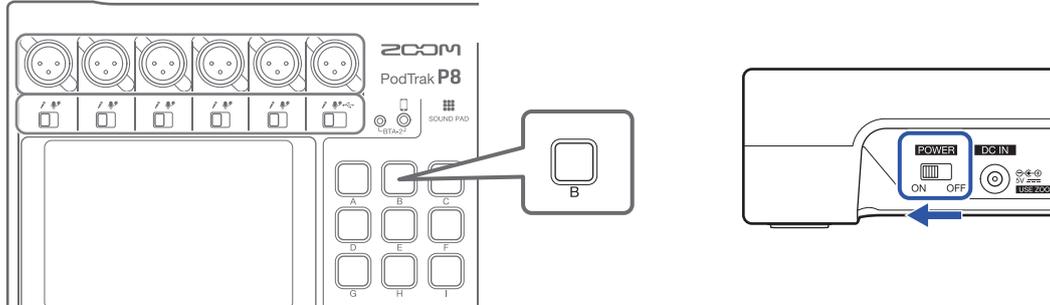


ホーム画面が表示されます。

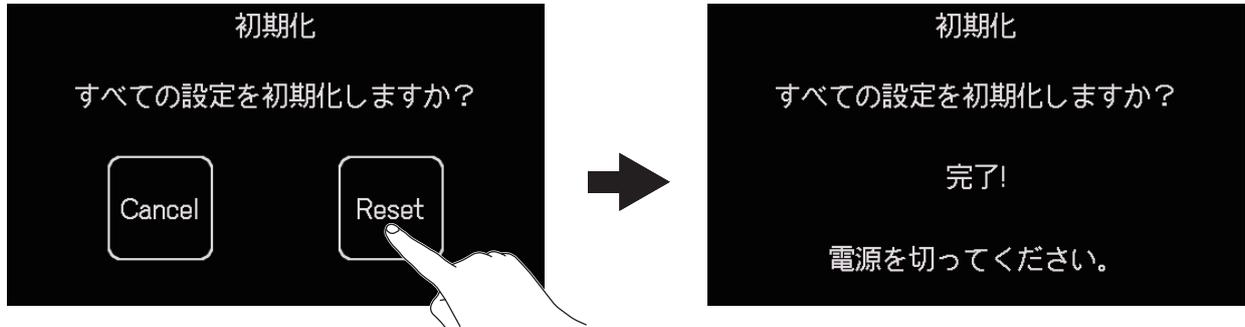
工場出荷時の状態に戻す

P8 を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1.  を押しながら  を ON にする



2. **Reset** をタップする



Cancel をタップすると初期化をキャンセルし、タッチスクリーンにホーム画面が表示されます。

3.  を OFF にする

P8 が工場出荷時の状態となり、タッチスクリーンに「Goodbye See You!」が表示され、電源が OFF になります。

NOTE

- 設定初期化を実行すると、すべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。
- P8 を工場出荷時の状態に戻したときは、次回電源 ON 時に初回起動時の設定を行ってください。(→ [22 ページ「初回起動時の設定を行う」](#))

ファームウェアのアップデート

P8 のファームウェアを、最新のものにアップデートできます。

最新のファームウェアアップデート用ファイルは ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com) からダウンロードできます。

P8 のダウンロードページにある「P8 ファームウェア・アップデートガイド」に従ってください。

故障かな？と思われる前に

共通

音が出ない、もしくは非常に小さい

- ヘッドフォンの接続と音量を確認する。(→ [25 ページ「ヘッドフォンを接続する」](#))
- マイクの接続を確認する。(→ [24 ページ「マイクを接続する」](#))
- コンデンサーマイクを使用している場合は INPUT SELECT スイッチを  にする。(→ [24 ページ「マイクを接続する」](#))
-  が消灯していることを確認する。
- 各チャンネルのフェーダーを上げて音量を上げ、レベルメーターが動いていることを確認する。(→ [35 ページ「各チャンネルの音量のバランスをとる」](#))
- 使用している出力の  を回して出力レベルを調節する。(→ [24 ページ「接続する」](#))

録音した音大きい、小さい、もしくは無音

- コンデンサーマイクを使用している場合は INPUT SELECT スイッチを  にする。(→ [24 ページ「マイクを接続する」](#))
- 各チャンネルのフェーダーを上げて音量を調節する。(→ [35 ページ「各チャンネルの音量のバランスをとる」](#))
- REC インジケーターが赤色に点灯していることを確認する。

録音できない

- REC インジケーターが赤色に点灯していることを確認する。
- SD カードに空き容量があることを確認する。

正しく録音できない／録音停止に異常に時間がかかる

- SD カードは消耗品です。書き込み・消去を繰り返していくうちに速度の低下がみられることがあります。
- **P8** でカードの初期化を行うと改善される可能性があります。(→ [83 ページ「SD カードを初期化する」](#))
- SD カードの初期化を行っても動作が改善されない場合、SD カードを交換する事をお勧めします。動作確認済みリストは ZOOM の WEB サイトからご確認ください。

NOTE

動作確認済み SDHC/SDXC カードは特定の SD カードの記録性能を保証するものではありません。
このリストは、適切なカードを見つけるためのガイドラインとして提供されています。

再生している音が聞こえない、もしくは小さい

- PHONES ノブを回して音量を調節する。(→ [25 ページ「ヘッドフォンを接続する」](#))
- SPEAKER OUT ノブを回して音量を調節する。(→ [31 ページ「パワードスピーカーなどを接続する」](#))

SOUND PAD にオーディオファイルを割り当てることができない

- 割り当てるオーディオファイルのフォーマットを確認する。(→ [43 ページ「オーディオファイルを SOUND PAD に割り当てる」](#))
- SD カードに保存したオーディオファイルの場合、SD カードの P8_Multitrack、P8_Settings フォルダ内以外の場所に保存する。

SOUND PAD が使用できない

- SOUND PAD の音量を確認する。(→ [42 ページ「SOUND PAD を再生する」](#))
- ファイルが割り当てられていることを確認する。(→ [43 ページ「オーディオファイルを SOUND PAD に割り当てる」](#))

オーディオインターフェース

パソコンやスマートフォン／タブレットで P8 を選択できない、または使用できない

- **P8** がパソコンなどに正しく接続されていることを確認する。(→ [28 ページ「パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する」](#))
- **P8** と接続しているソフトウェアを終了し、**P8** の電源を入れ直す。
- USB ハブを使用せずに、パソコンなどの USB ポートに直接 **P8** を接続する。

再生や録音中に音が途切れる

- 使用しているソフトウェアでオーディオのバッファサイズが調節できる場合は、バッファサイズを大きくする。
- USB ハブを使用せずに、パソコンなどの USB ポートに直接 **P8** を接続する。
- パソコンなどの省電力の設定（オートスリープ機能など）を OFF にする。

再生や録音ができない

- **P8** がパソコンなどに正しく接続されていることを確認する。(→ [28 ページ「パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する」](#))
- 使用しているパソコンの設定にて、**P8** が選択されていることを確認する。
- 使用しているソフトウェアの入出力設定で **P8** が選択されていることを確認する。
- INPUT SELECT スイッチ 6 を  にする。
- **P8** と接続しているソフトウェアを終了し、**P8** とつながっている USB ケーブルを抜き差しする。

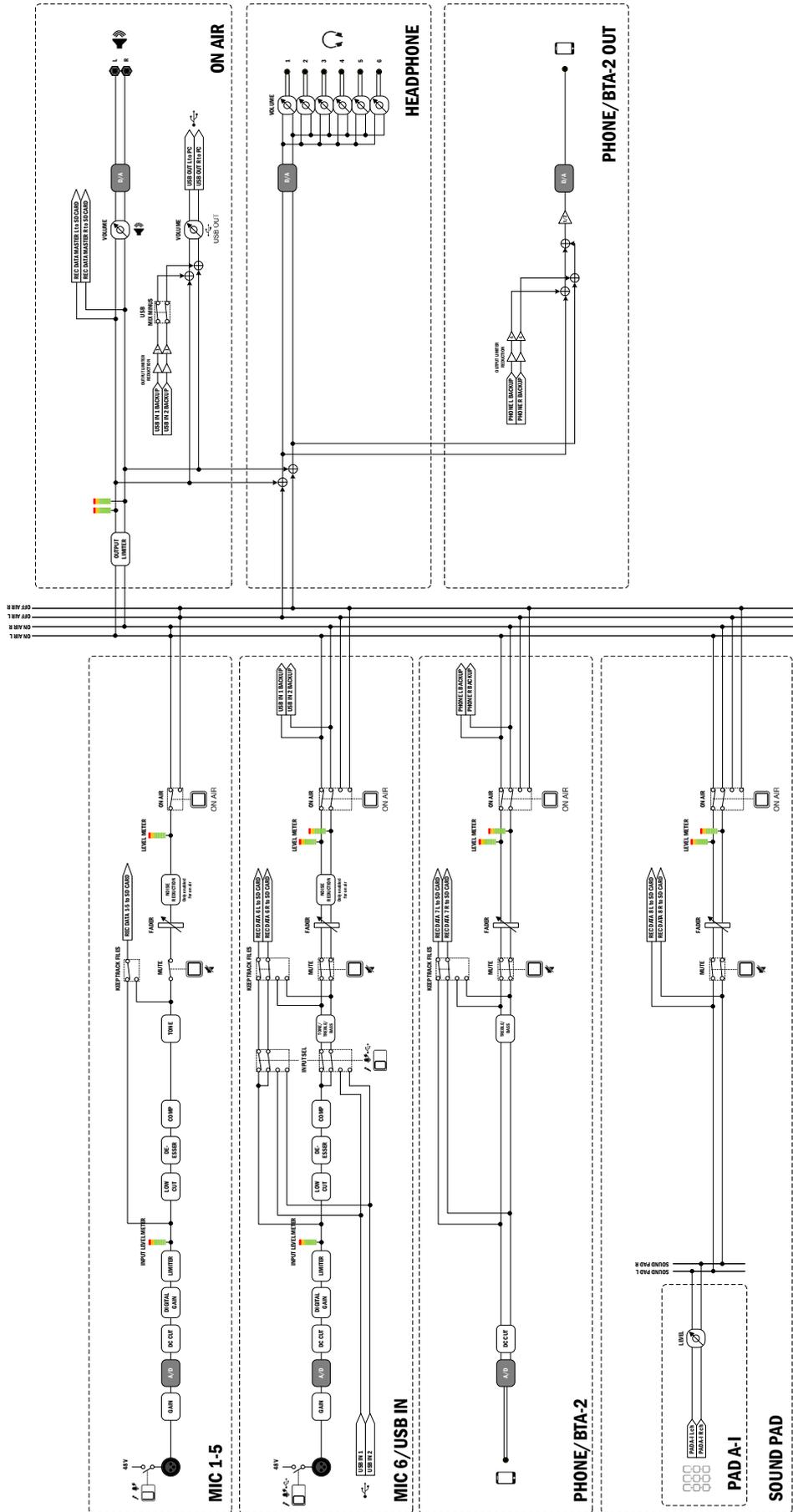
仕様

入出力 チャンネル数	入力チャンネル数		マイク入力：6 (モノラル) スマートフォン入力：1 (ステレオ)
	出力チャンネル数		2 (ヘッドフォン×6、スピーカーアウト L/R)
接続端子	MIC	仕様	XLR ジャック (2 番 HOT)
		入力ゲイン	0 ~ +70 dB
		入力インピーダンス	3 k Ω
		最大入力レベル	+5 dBu (@0 dBFS)
		ファンタム電源	+48 V
	スマートフォン 接続端子	仕様	TRRS ミニジャック (4 極 / TIP : L、RING1 : R、RING2 : GND、SLEEVE : MIC)
		入力インピーダンス	3 k Ω
		最大入力レベル	+2.5 dBu
	USB	USB Type-C (オーディオインターフェース機能、マストレージ機能) ※データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。USB バスパワー対応。	
	ヘッドフォン	仕様	3.5 mm ステレオミニ
最大出力レベル		20 mW + 20 mW @32 Ω	
出力インピーダンス		27 Ω	
スピーカー アウト	仕様	TRS ジャック (バランス)	
	最大出力レベル	+5.5 dBu	
	出力インピーダンス	320 Ω	
AC アダプター	AD-14 用電源端子		
レコーダー	フォーマット	WAV 44.1 kHz、16-bit モノラル/ステレオ	
	記録メディア	SDHC 規格対応カード 4 GB ~ 32 GB (Class 10 以上) SDXC 規格対応カード 64 GB ~ 512 GB (Class 10 以上)	
オーディオインターフェース	44.1 kHz、16-bit、2in2out		
周波数特性	-1.0 dB : 20 Hz ~ 20 kHz @44.1 kHz サンプリング		
入力換算ノイズ	-124 dBu 以下 (IHF-A) @+70 dB、150 Ω input		
表示	4.3" フルカラーLCD (480 × 272)、タッチスクリーン		
電源	単三電池×4 (アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池) AC アダプター (ZOOM AD-14) : DC 5 V/1 A ※ USB バスパワー対応。		
連続使用時の電池持続時間の目安	44.1 kHz/16-bit 4ch SD カードへ録音 (+48 V OFF、ヘッドフォン 32 Ω 負荷) アルカリ乾電池：約 1.5 時間 ニッケル水素蓄電池 (1900 mAh) : 約 3 時間 リチウム乾電池：約 5 時間 ※上記の値はあくまで目安です。 ※電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変わります。		
消費電力	5 W		
外形寸法	295 mm (W) × 248 mm (D) × 61 mm (H)		
質量 (本体のみ)	1.43 kg		

※ 0 dBu = 0.775 V

ミキサーブロックダイアグラム

P8 MIXER BLOCK DIAGRAM



zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com

Z2I-4117-02